

# 雲仙市人口ビジョン

平成27年12月

長崎県 雲仙市

# 目 次

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 1. 人口の現状分析 .....           | 1  |
| (1) 人口動向分析.....            | 1  |
| (2) 社会動態の状況.....           | 6  |
| (3) 自然動態の状況.....           | 12 |
| 2. 定住・結婚・子育てに関する市民意識 ..... | 15 |
| (1) 市民満足度調査結果.....         | 15 |
| (2) 転入出者アンケート結果.....       | 17 |
| (3) 結婚・妊娠・出産・子育ての意識調査..... | 19 |
| 3. 将来人口の推計と分析.....         | 24 |
| 4. 人口の将来展望 .....           | 25 |
| (1) 目指すべき将来の方向性.....       | 25 |
| (2) 人口の将来展望.....           | 26 |

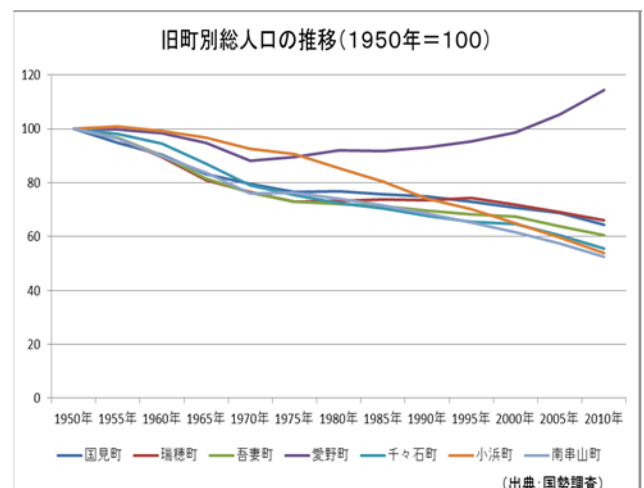
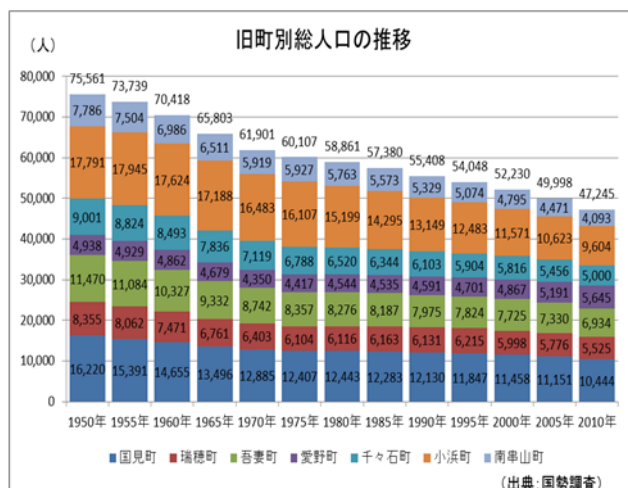
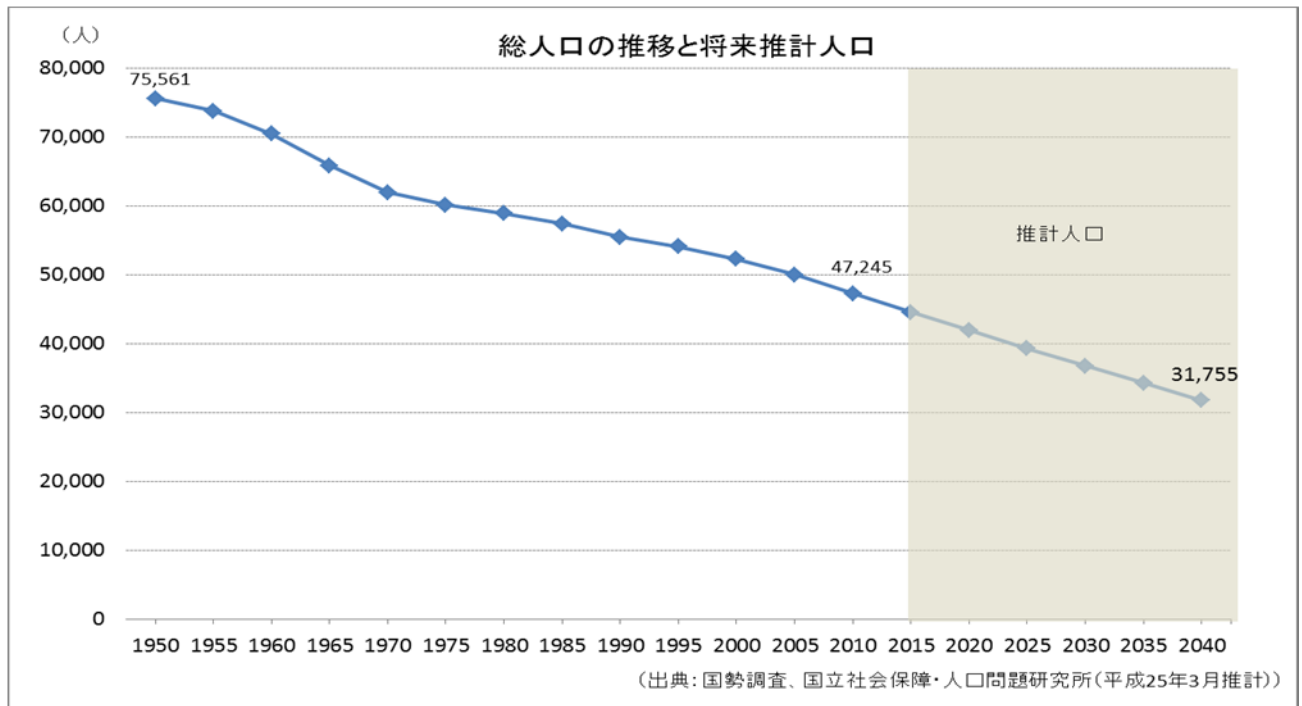
# 1. 人口の現状分析

## (1) 人口動向分析

### 1) 総人口の推移と将来人口推計

本市の総人口は、合併前の1950年から減少を続けており、2010年の国勢調査では47,245人という結果となっています。国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）によると、2040年の本市の人口は31,755人と推計されており、2010年と比較すると33%減少することが予測されています。

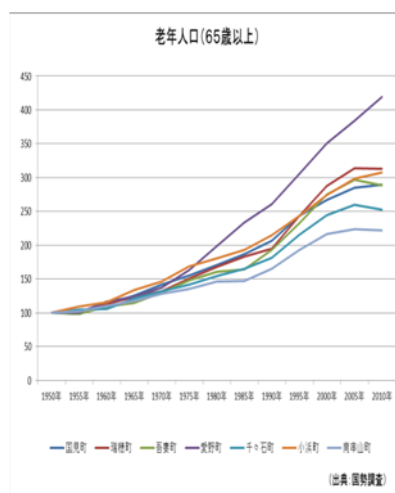
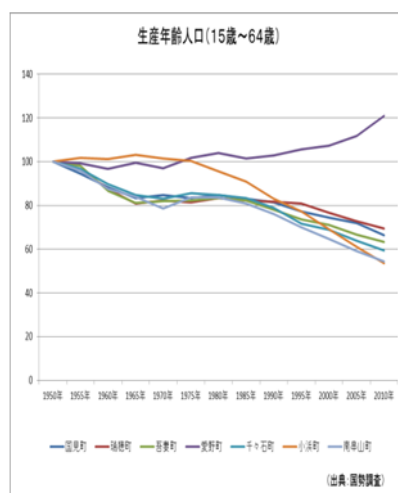
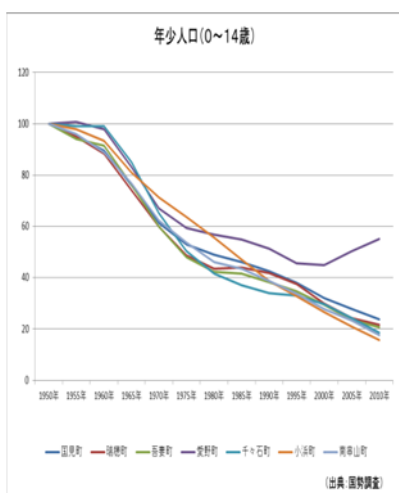
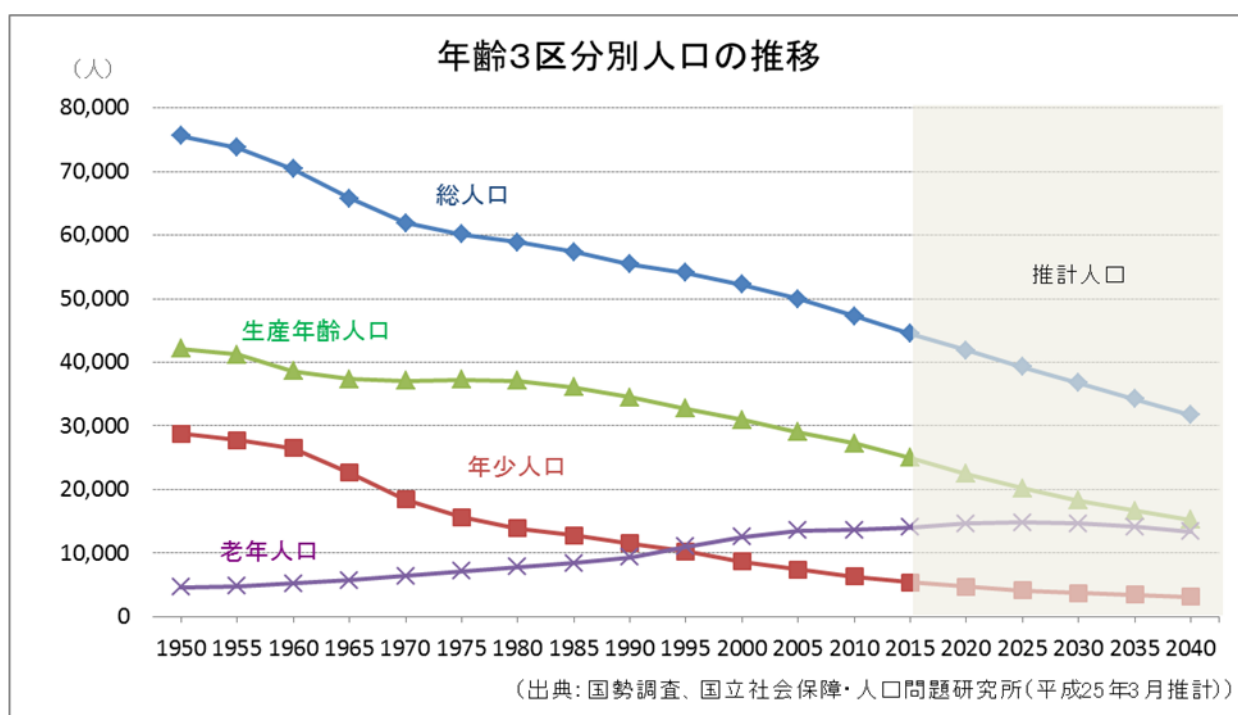
旧町別で見た場合、愛野町以外の地域で人口が減少しており、中でも南串山町の減少率が最も高くなっています。



## 2) 年齢3区分別の人口推移

年齢3区分別人口の推移をみると、年少人口（14歳以下）と生産年齢人口（15～64歳）は減少しているのに対して、老年人口（65歳以上）は増加しており、1995年頃には年少人口と老年人口が逆転しています。

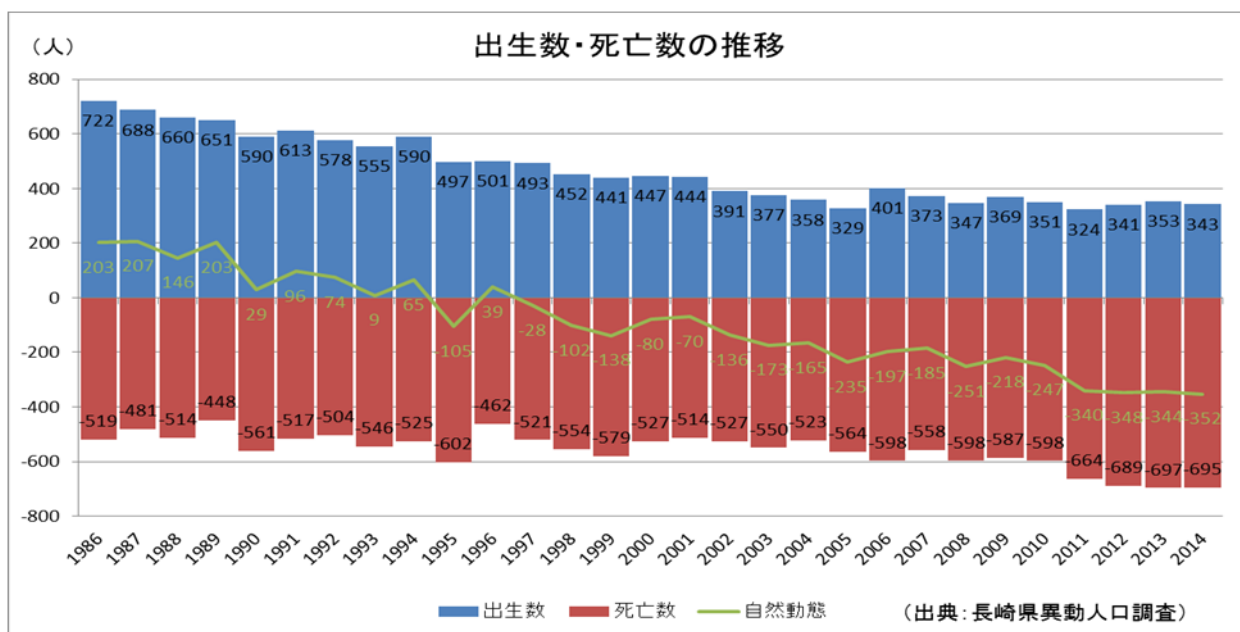
社人研によると今後も年少人口と生産年齢人口は減少し続け、老年人口はほぼ横ばいの状態であることが推計されており、今後ますます少子高齢化が進むことが予測されます。



### 3) 出生・死亡、転入・転出の推移

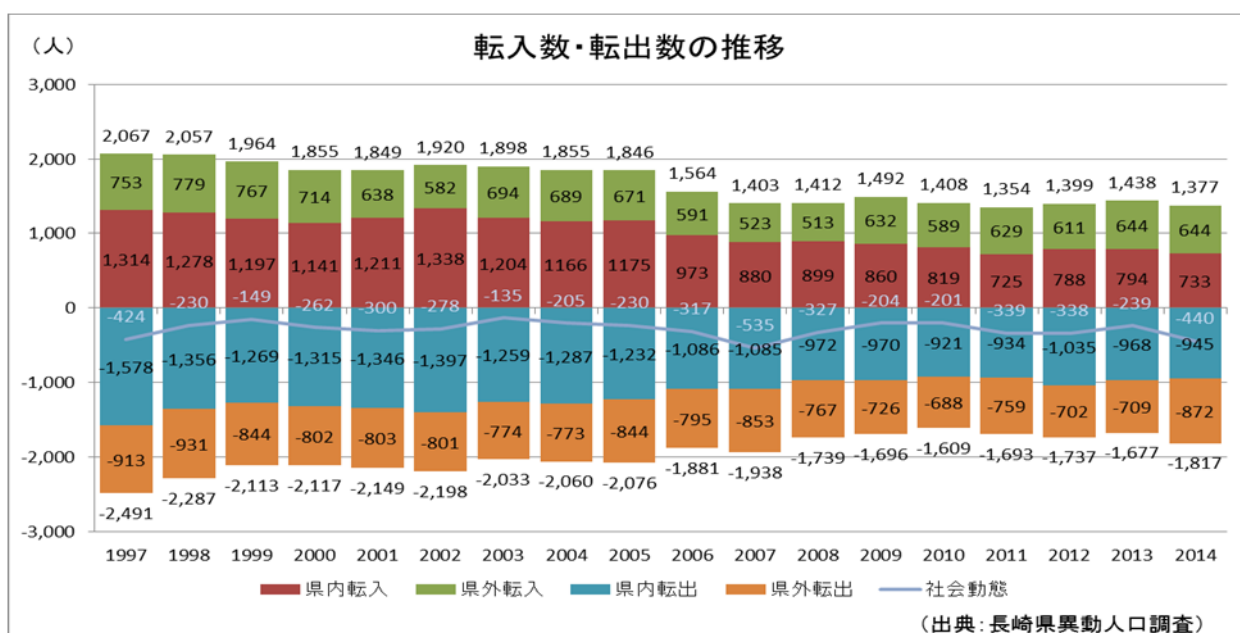
#### ①自然動態

本市の出生数は1986年から減少傾向となっており、死亡数は増加傾向となっています。この結果、1997年以降は死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いており、近年では350人前後のマイナスが続いています。



#### ②社会動態

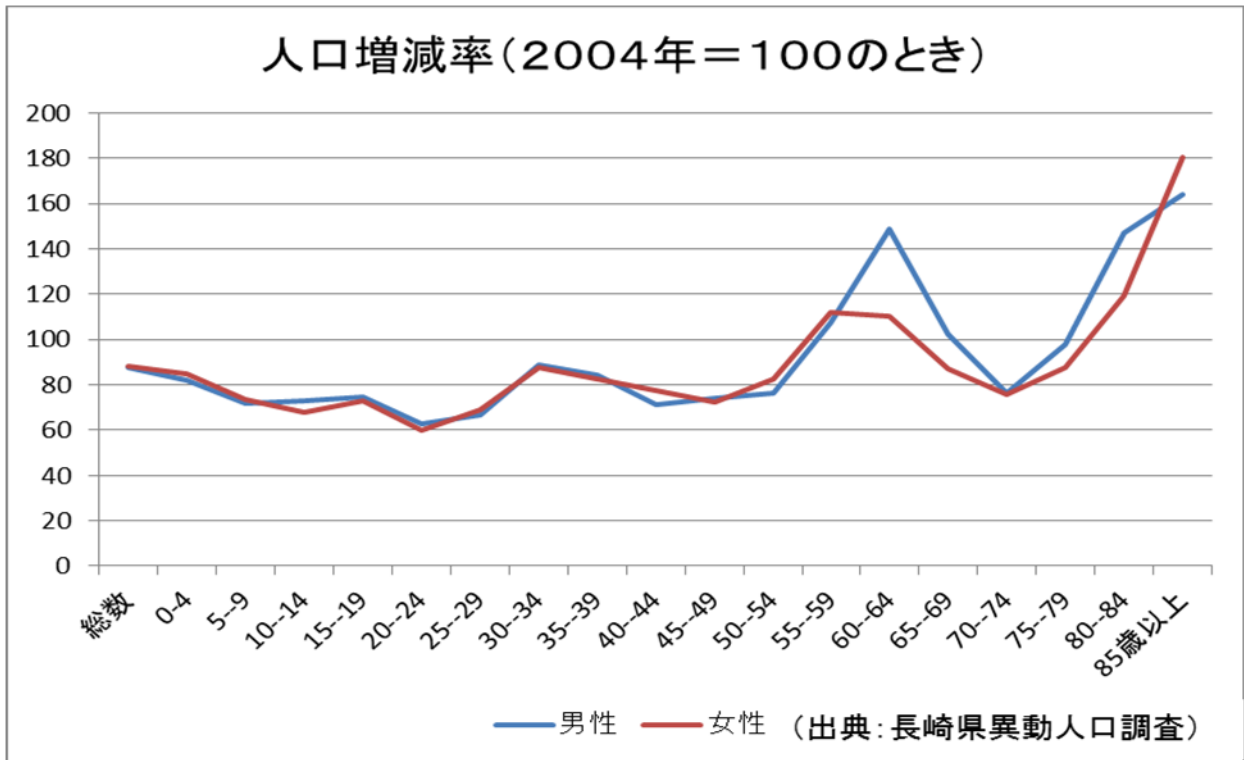
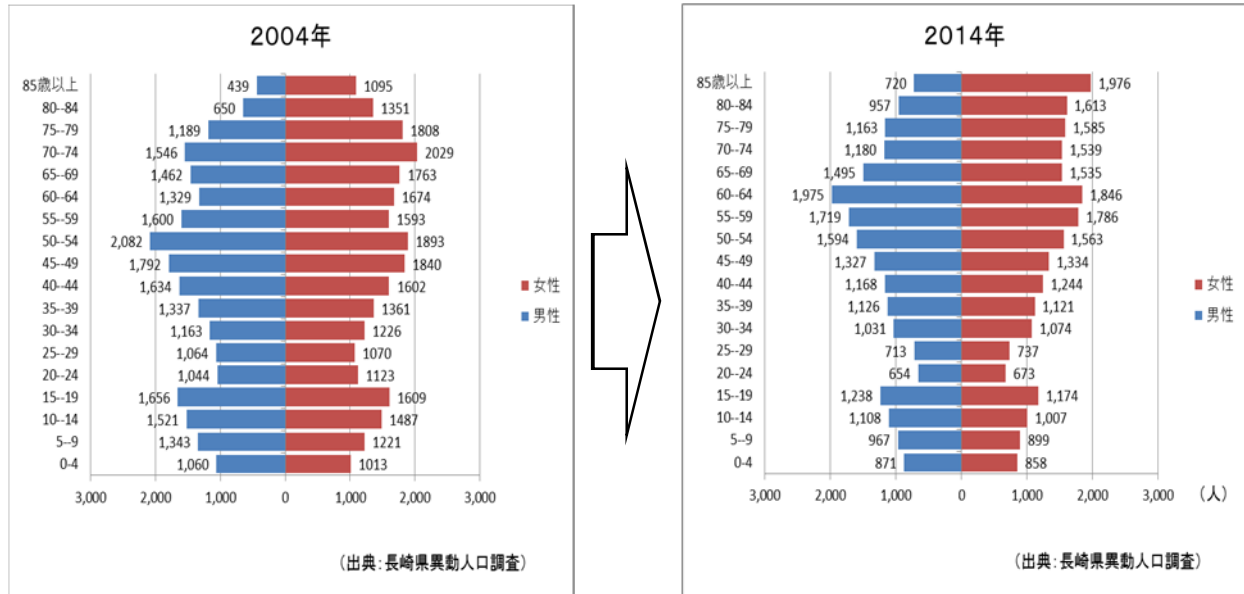
転入数と転出数ともに減少傾向であるものの、いずれの年も転出数が転入数よりも多い社会減の状態が続いています。平均で毎年280人程度の人口が減少しています。



#### 4) 男女別5歳階級別人口の推移

本市の2014年の人口構造は「20～29歳」の若い年齢層の人口が少なくなっています。

10年前の2004年と比較した場合、「55～64歳」、「80歳以上」は増加していますが、それ以外の年齢階級では減少しています。



## 5) 人口の変化が本市に及ぼす影響

人口減少は、市民生活や経済活動などの様々な面での影響を及ぼす可能性があります。例えば、人口減少により地域の経済が低迷し、それを起因に雇用情勢が悪化し、若者を中心とした若年層の流出を加速させます。また、経済のみならず地域コミュニティの衰退など、身近な生活分野への影響も懸念されます。具体的な事象や問題点を下記のように整理します。

### ■経済・労働力

- ・生産年齢人口の減少による消費力の衰退
- ・生産年齢人口の減少による労働力不足
- ・労働者不足による企業経営の停滞
- ・一次産業における後継者不足や耕作放棄地の増加等

### ■暮らし・地域コミュニティ

- ・消費低迷による商業、飲食業、娯楽などのサービス産業の衰退
- ・公共交通機関の利用者減少による経営難・効率化による利便性の低下
- ・地域の祭りやイベントなどの地域おこし活動における人材不足
- ・災害時の助け合いや見守りなどの身近な暮らしにおける人材不足
- ・消防団員の不足など地域防災力の低下

### ■医療・福祉

- ・生産年齢人口の減少による介護・福祉人材の不足
- ・高齢者の減少による地域の医療・福祉事業所の経営難

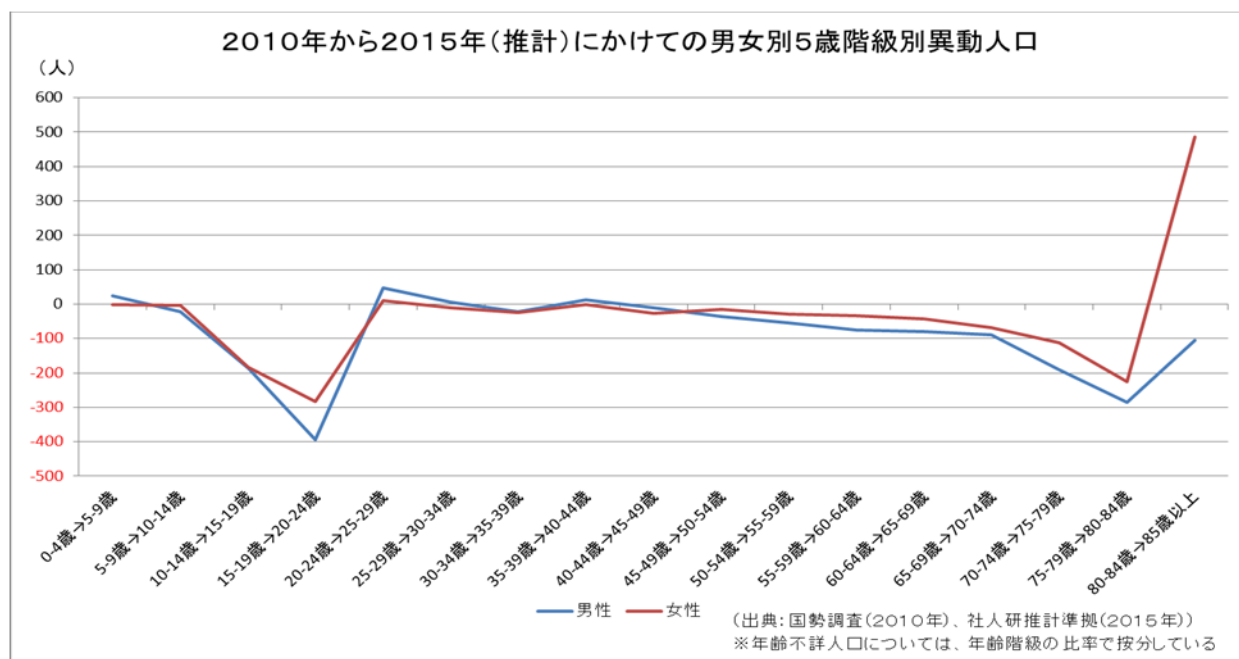
### ■子育て・教育

- ・子どもの減少による保育施設や学校等の運営難
- ・学習活動や部活動等の集団活動への影響

## (2) 社会動態の状況

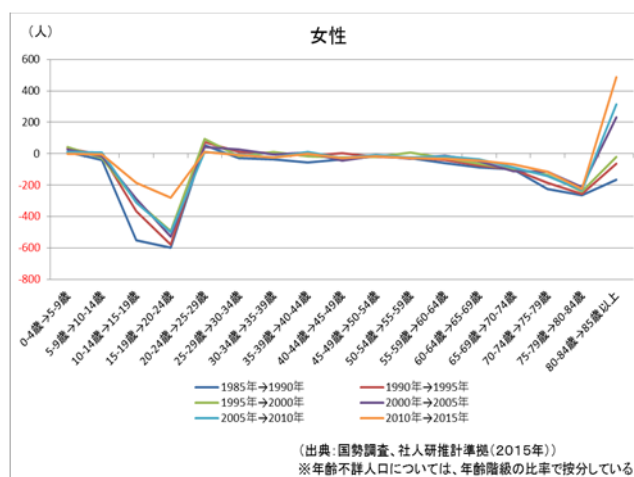
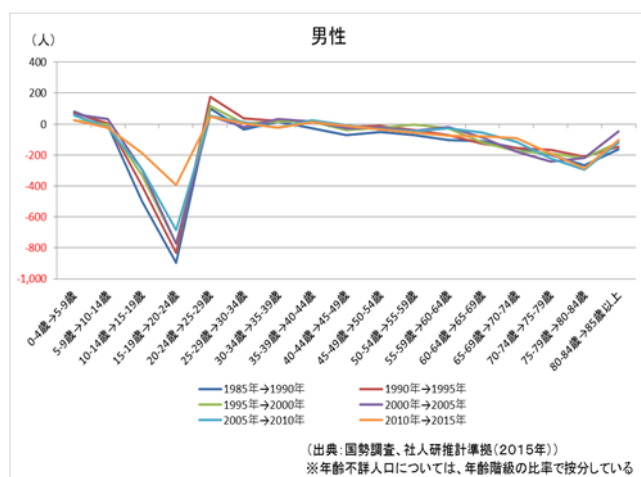
### 1) 男女別・5歳階級別異動人口

2010年から2015年にかけての5歳階級別異動人口をみると、男性、女性とも若い年齢層が減少しており、「15～24歳」の年齢層は特に減少しています。この年齢層の減少は、進学や就職などが要因であると考えられます。



### 2) 男女別5歳階級別異動人口の長期動向

1985年以降、男女共に「15～24歳」の減少が著しい状況となっていますが、その減少数は、総人口の減少に伴い、小さくなってきています。一方で、85歳以上の女性人口は年々増加しています。

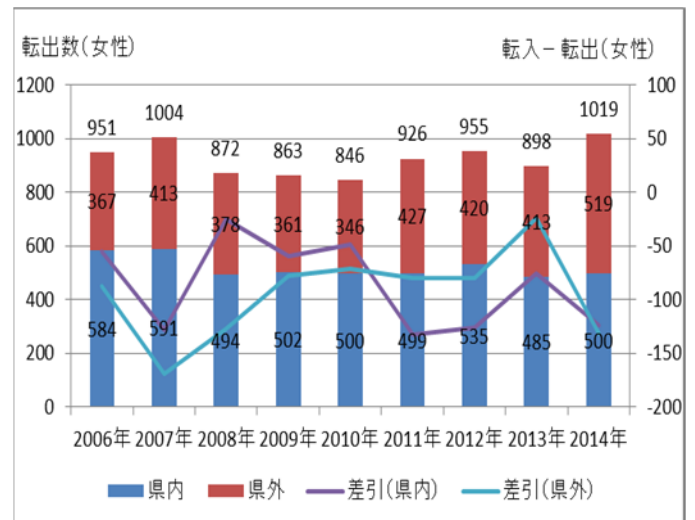
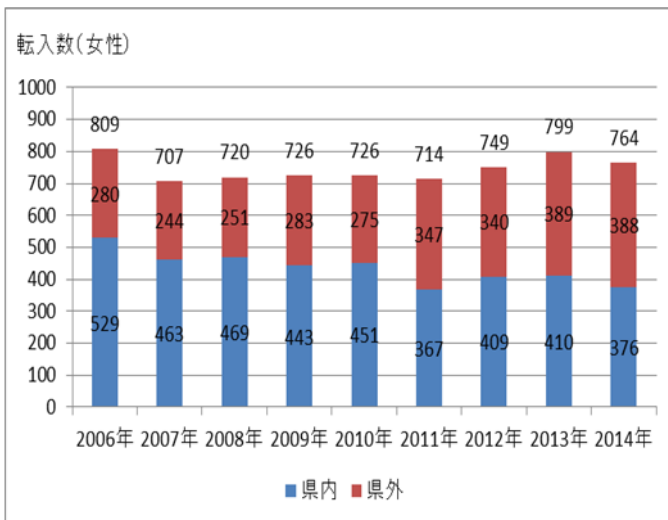
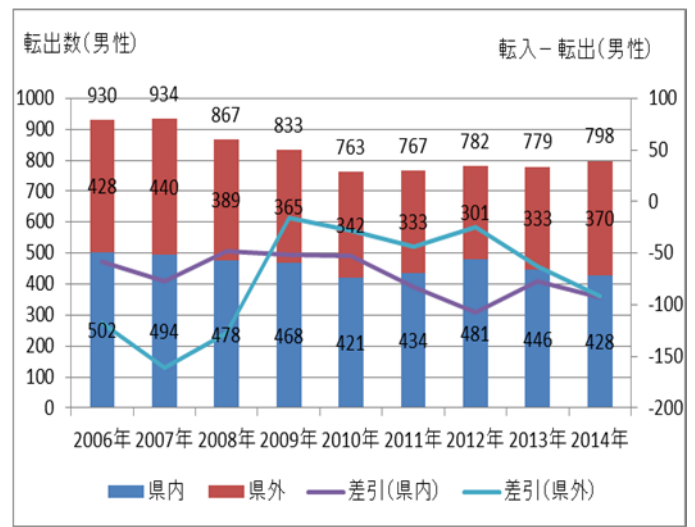
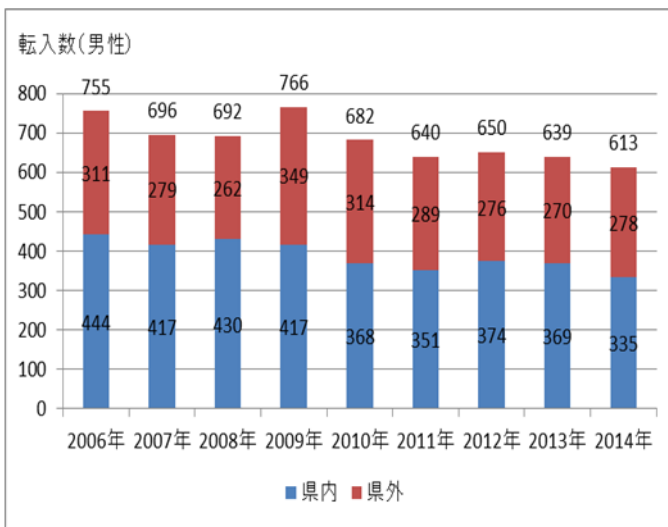




### 3) 社会動態（転入・転出）の最近の状況

転入数と転出数を比較した場合、男性も女性も転出数の方が多くなっており、近年の女性の転出数は男性の転出数よりも約150人多い状態が続いています。

転入数から転出数を差し引いた数は、いずれの年もマイナスであり、県外よりも県内への転出が多い傾向となっています。

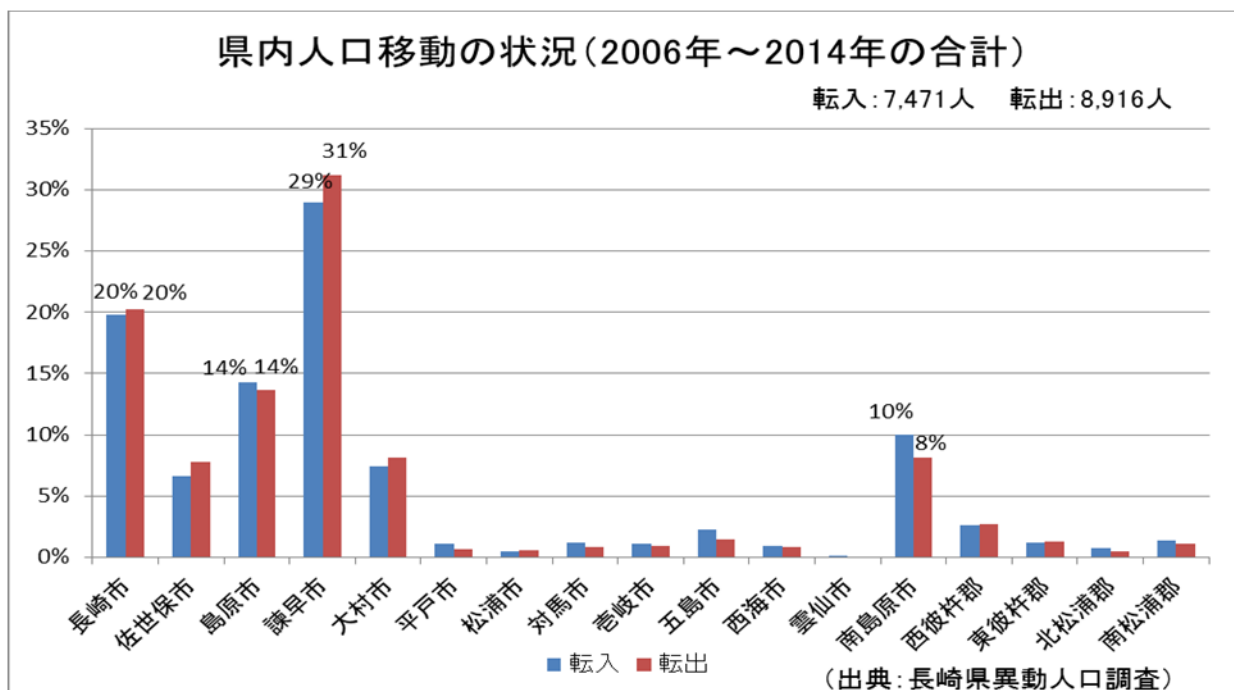
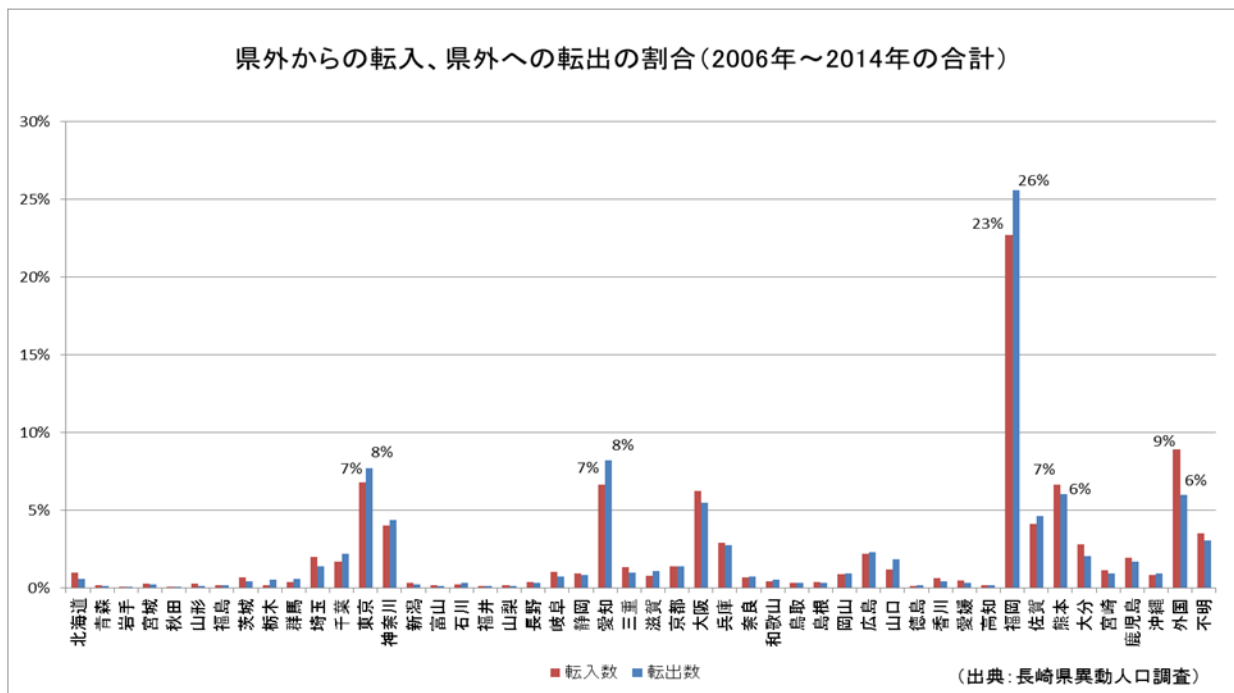


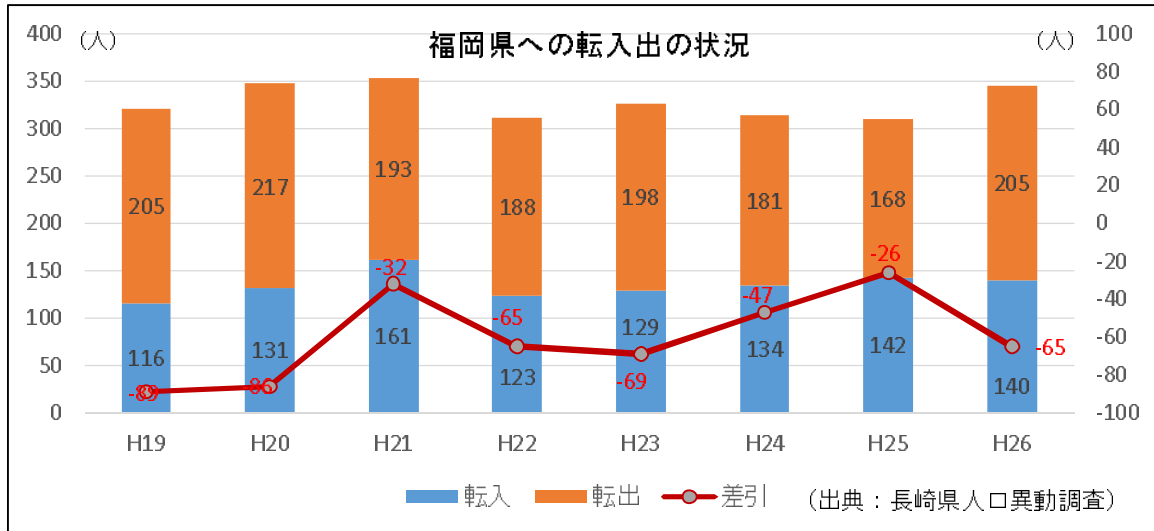
#### 4) 地域別人口移動の最近の状況

県外からの転入元、県外への転出先の割合は、転入出ともに福岡県が最も高い割合を占めており、毎年 30～90 人程度の転出超過の状況が続いています。

転入は、福岡県の次に外国、東京都、愛知県、熊本県の順で多くなっています。転出は、福岡県のほか、東京都、愛知県、熊本県の順で多い状況です。

県内の状況をみると、諫早市が転入出ともに多く、次いで長崎市、島原市、南島原市となっています。転入から転出を差し引いた過去 5 年間の純移動数は、諫早市は▲449 人、長崎市は▲178 人、島原市は▲150 人といずれも転出超過の状況にあります。

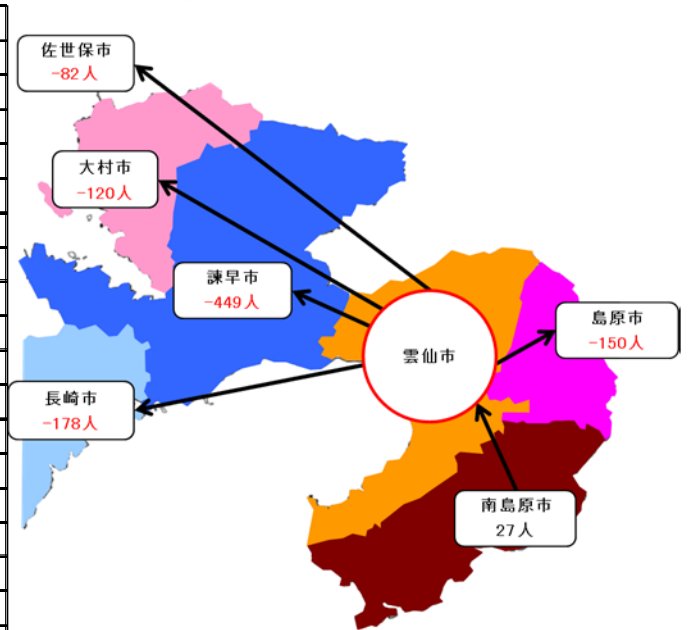




純移動数の状況 2010年～2014年(各年1月～12月) (人)

|      | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 合計   |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 長崎市  | 7     | -35   | -40   | -67   | -43   | -178 |
| 佐世保市 | -4    | -38   | -18   | -25   | 3     | -82  |
| 島原市  | -11   | -58   | -48   | 5     | -38   | -150 |
| 諫早市  | -91   | -112  | -103  | -66   | -77   | -449 |
| 大村市  | -6    | -19   | -29   | -18   | -48   | -120 |
| 平戸市  | 2     | 0     | 0     | 9     | 4     | 15   |
| 松浦市  | -2    | 2     | 3     | -3    | -4    | -4   |
| 対馬市  | -2    | 7     | -7    | 0     | -7    | -9   |
| 壱岐市  | 6     | 3     | 2     | 3     | 0     | 14   |
| 五島市  | 1     | 3     | -9    | 9     | -9    | -5   |
| 西海市  | 0     | -5    | 1     | 0     | 2     | -2   |
| 南島原市 | 2     | 38    | -11   | -6    | 4     | 27   |
| 西彼杵郡 | -12   | 6     | 0     | -3    | 0     | -9   |
| 東彼杵郡 | -4    | -3    | 7     | -12   | 0     | -12  |
| 北松浦郡 | 7     | -1    | 0     | -5    | 3     | 4    |
| 南松浦郡 | 5     | 3     | 5     | 3     | -2    | 14   |
| 不明   | 0     | 0     | 0     | 2     | 0     | 2    |
| 合計   | -102  | -209  | -247  | -174  | -212  | -944 |

近隣市との純移動数の状況(2010年～2014年)

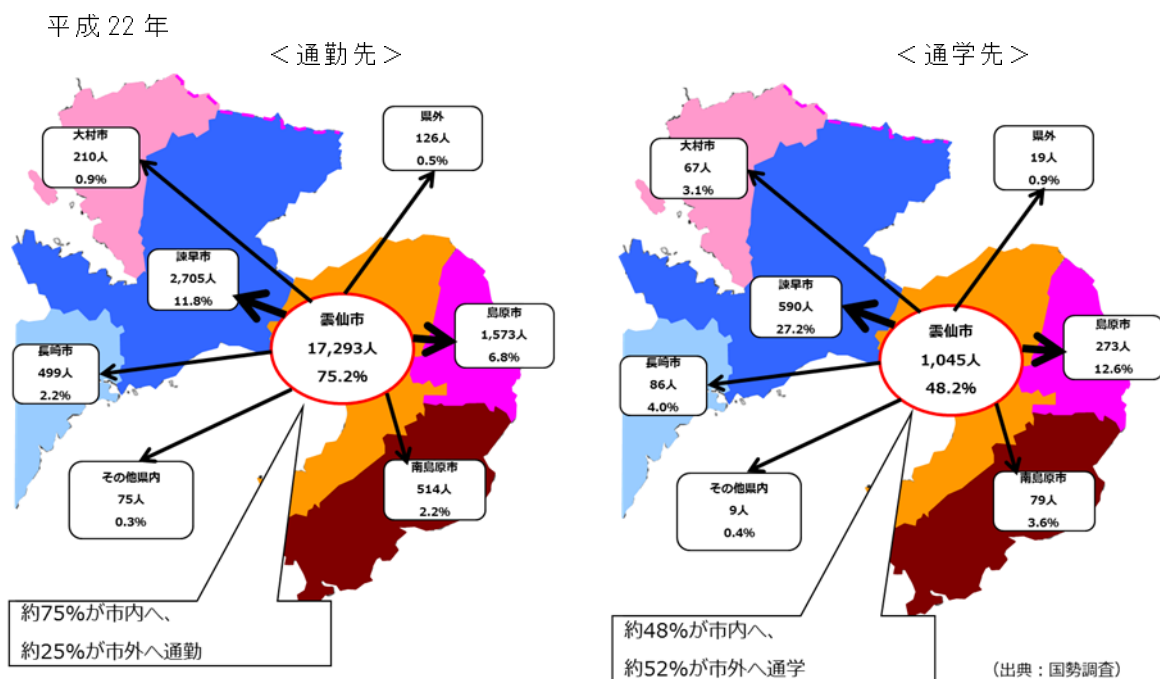
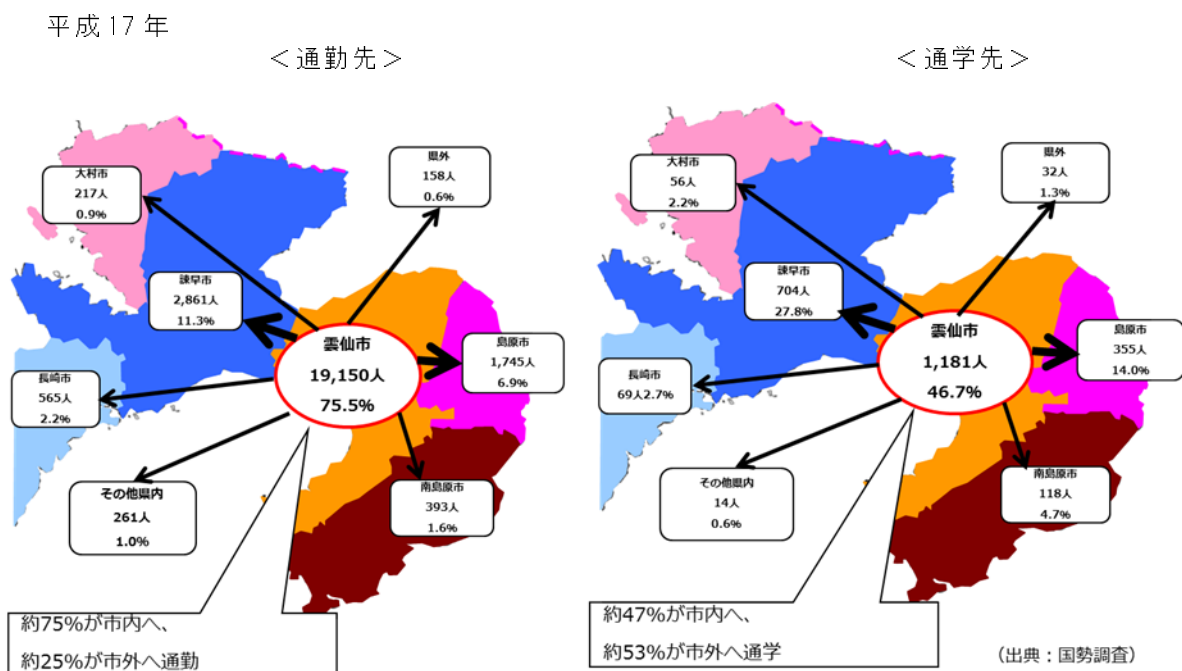


(出典：長崎県異動人口調査)

## 5) 通勤・通学の状況

平成 22 年の本市の通勤状況をみると、市内が約 75%、市外が約 25%と市内率が高い状況です。市外の通勤先は諫早市が約 12%で最も高く、島原市が約 7%と続いています。

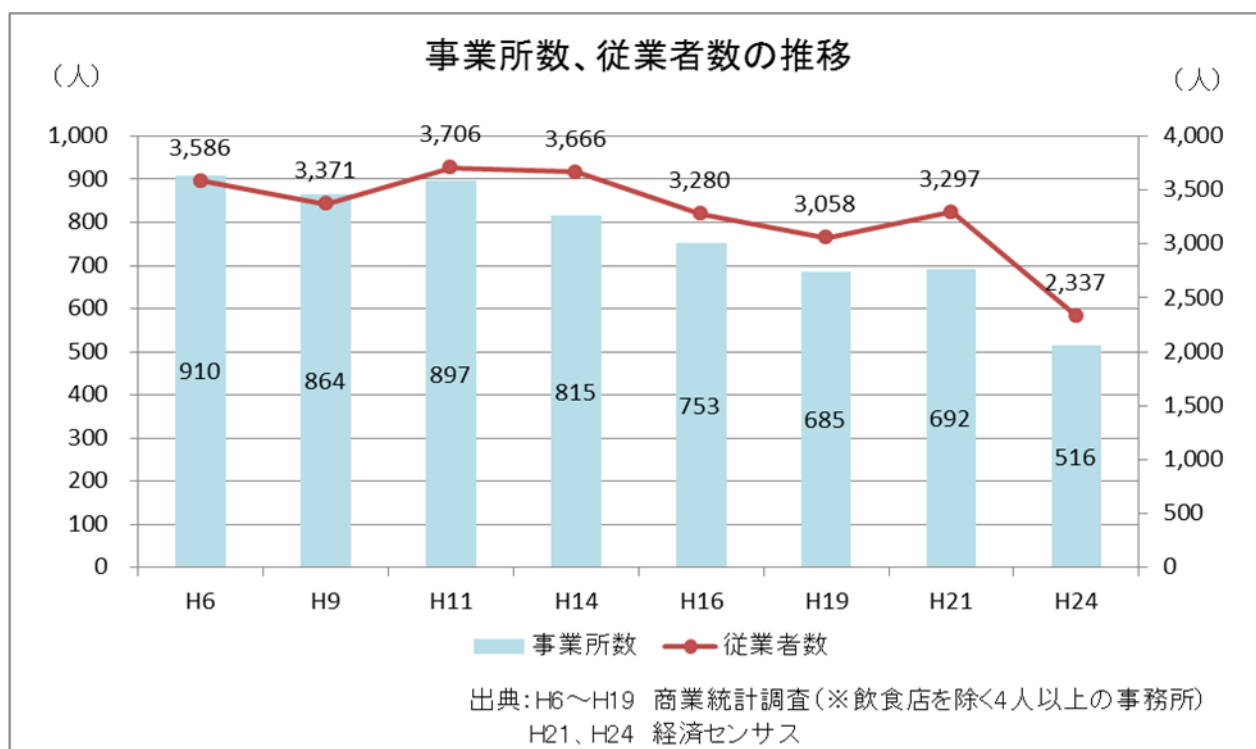
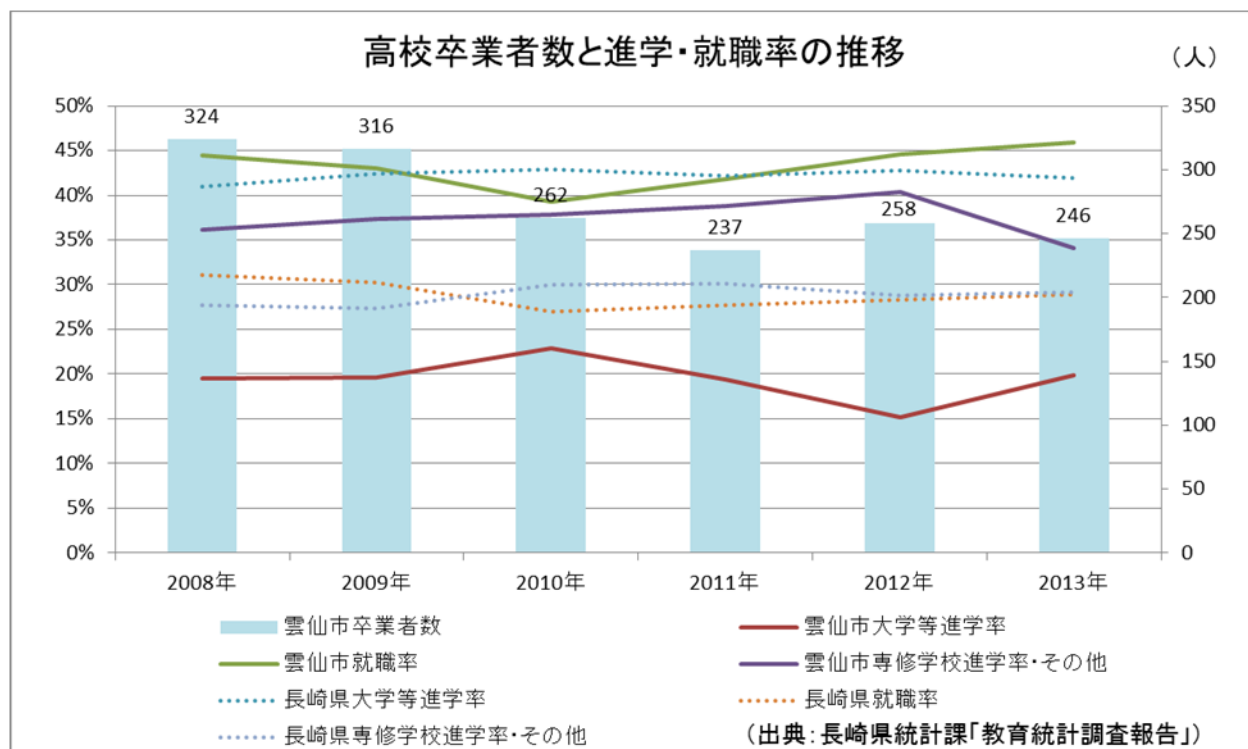
一方、通学先は、市内が約 48%、市外が約 52%と、市外が市内を上回っています。市外への通学先は、通勤同様、諫早市が約 27%で最も高く、島原市が約 13%と続いている状況です。



## 6) 高校生の進学率・就職率と雲仙市の雇用状況

本市の高校卒業者は、近年減少傾向となっておりますが、就職率は増加しており、その割合は長崎県の就職率よりも高い割合となっておりますが、大学等への進学率は県の方が上回っています。

本市の事業所数及び就業者数は、平成 21 年から平成 24 年の間に大幅に減少していることから、高校卒業者の多くは市外の企業に就職していることが予測されます。

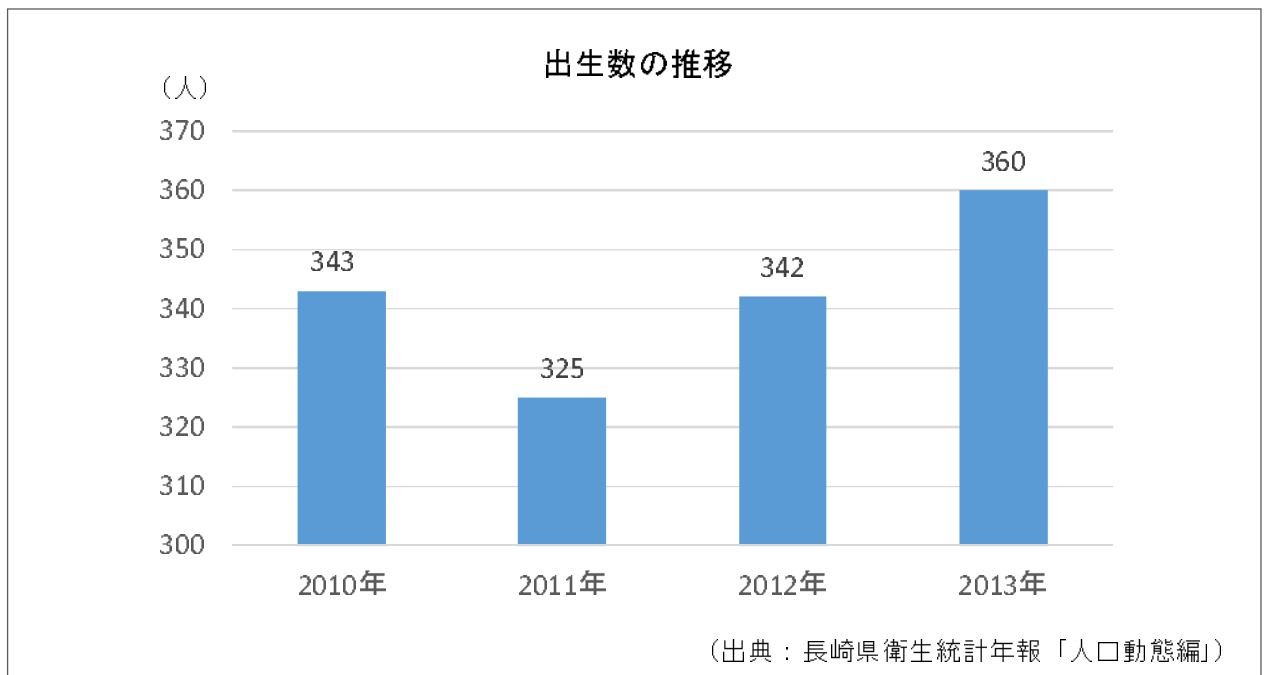
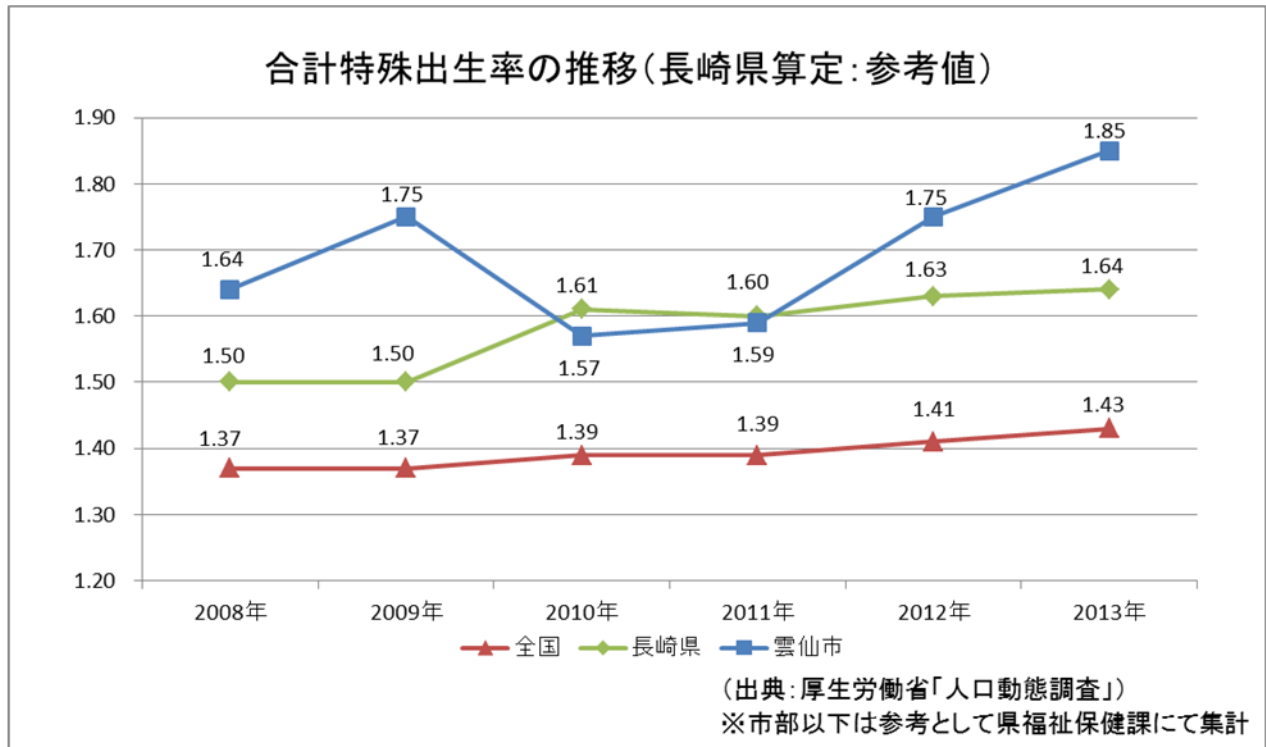


### (3) 自然動態の状況

#### 1) 合計特殊出生率の推移

本市の合計特殊出生率は全国よりも高い数値で推移しており、近年では全国と県よりも高い数値である「1.85」となっています。なお、雲仙市の合計特殊出生率については、長崎県において算出された参考値です。

出生数は毎年 350 人前後で推移していますが、2011 年以降は 3 年連続で増加しています。

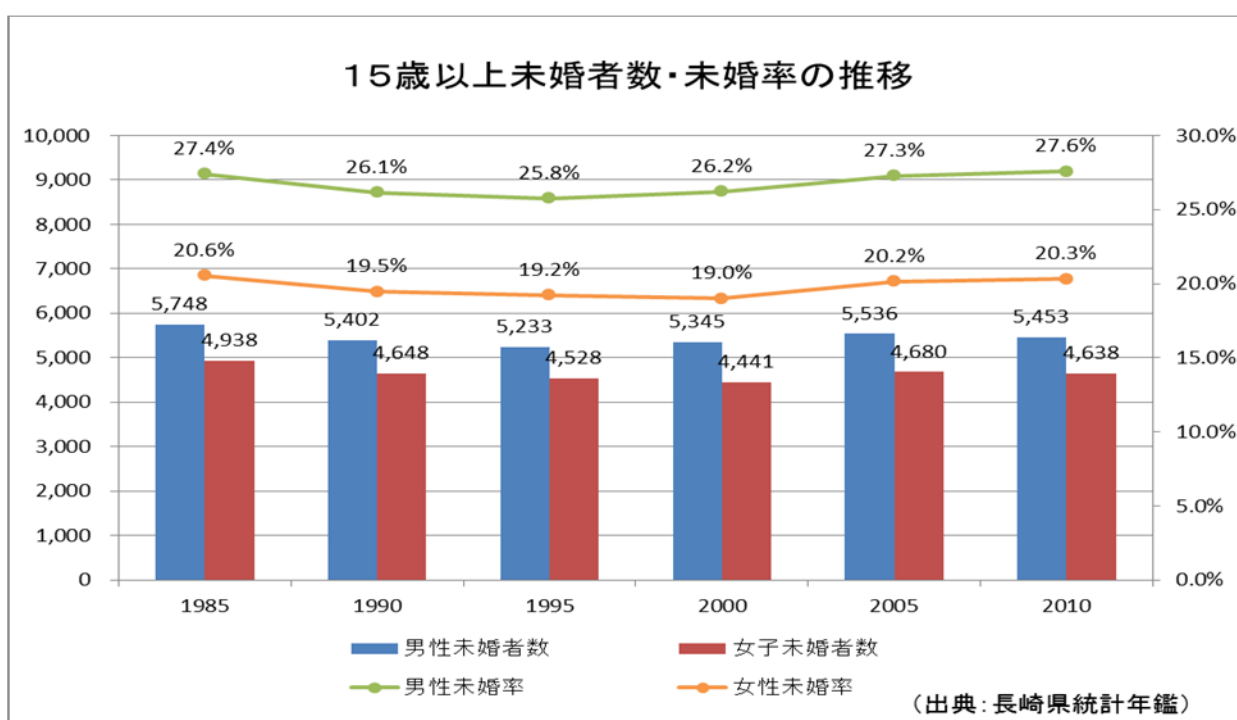
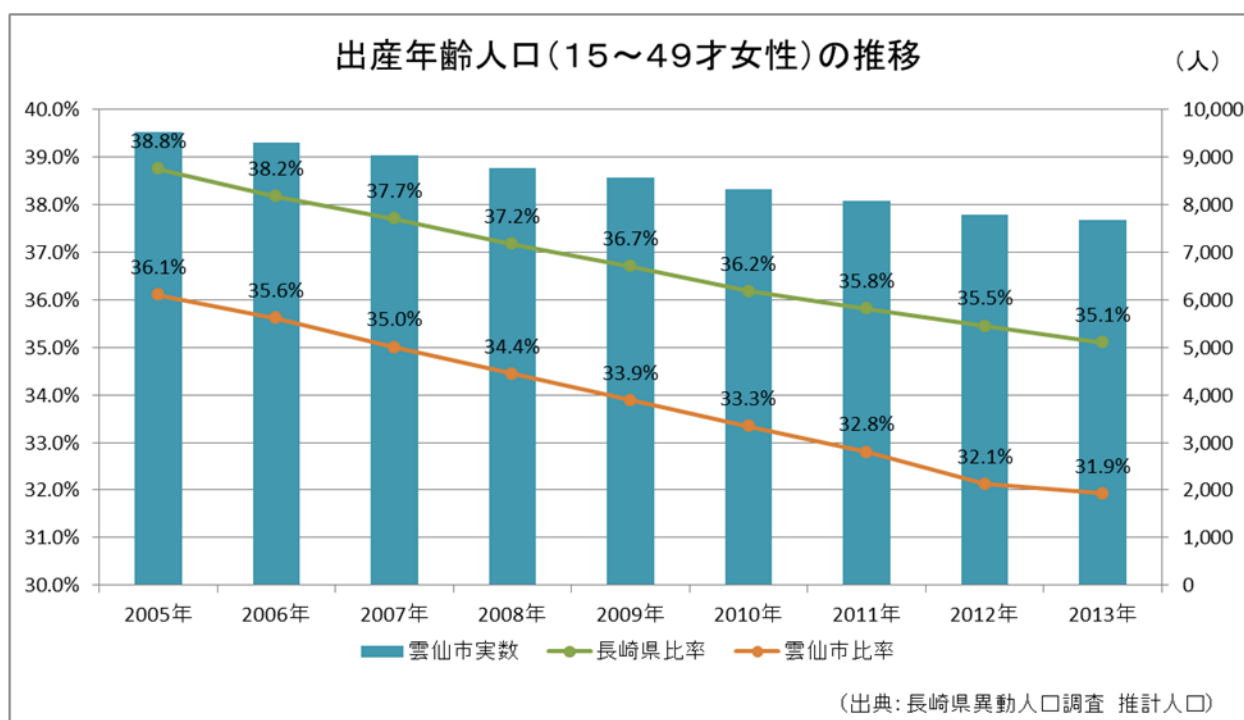


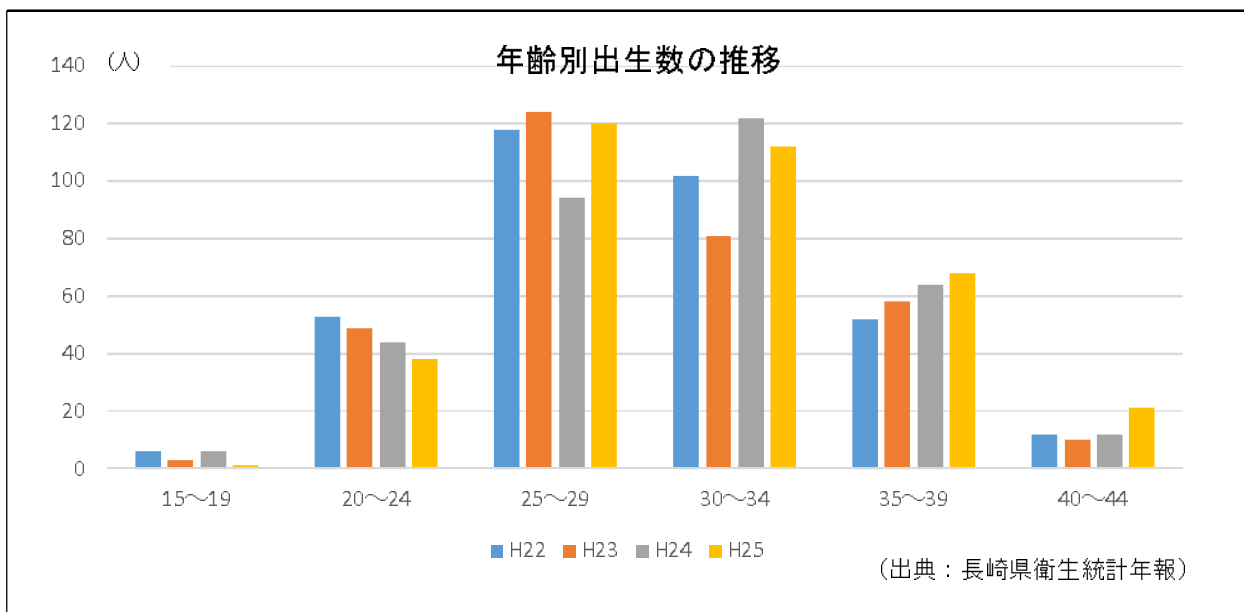
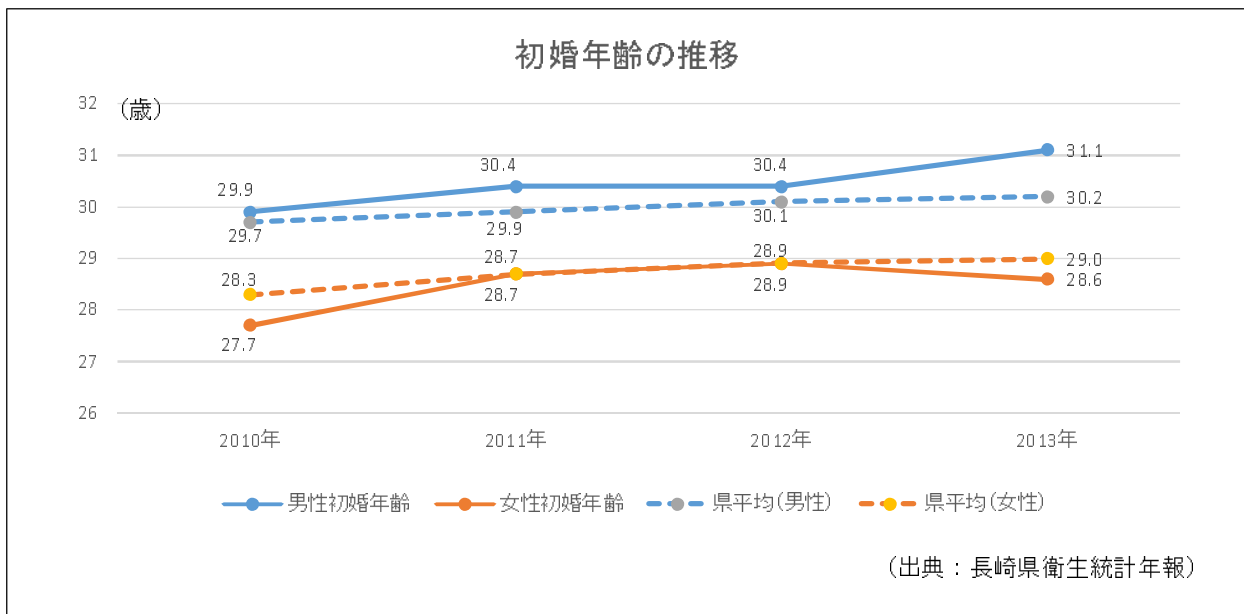
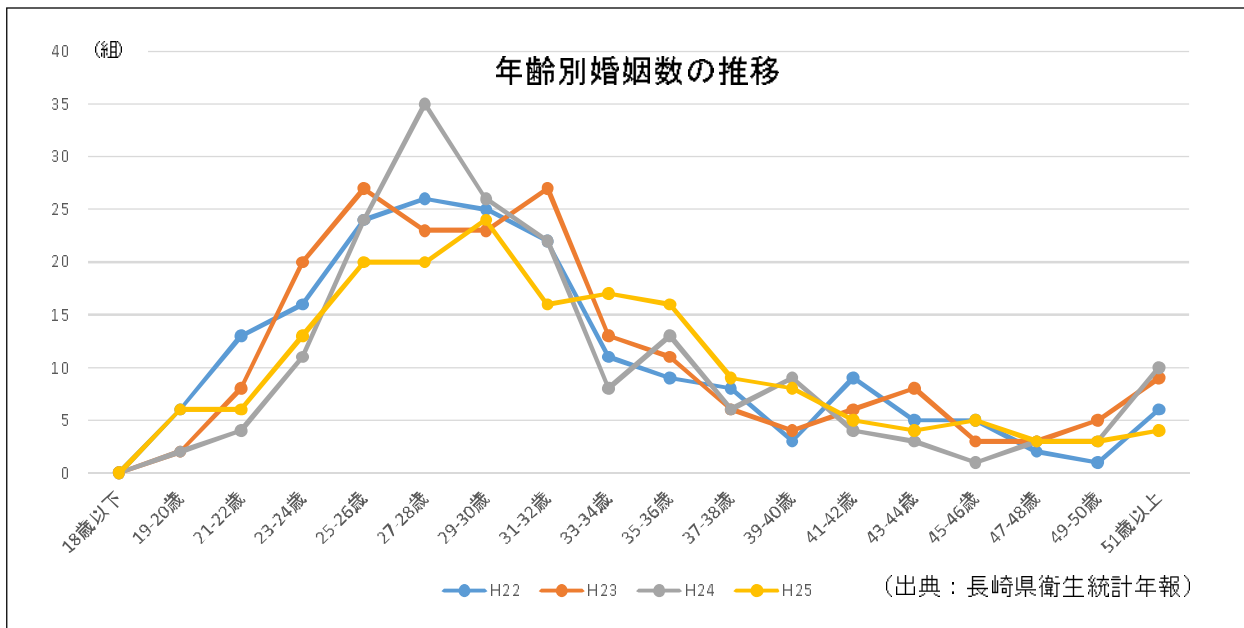
## 2) 出産年齢人口と未婚率の推移

本市の15～49歳（合計特殊出生率の算定対象年齢）の女性人口は減少を続けており、長崎県の比率よりも低い状況が続いています。

15歳以上の未婚率は男女ともに増加傾向であり、女性よりも男性の未婚率が高い状態となっています。

年齢別婚姻数は25歳～32歳が最も多い状況です。一方で、初婚年齢は男女とも上昇傾向にあり、男性については県平均よりも高い状況が続くなど、晩婚化の傾向がみられます。女性の年齢と出産の関係を見ると25歳～34歳がピークであり、晩婚化が進むと出生数にも影響を及ぼす可能性があります。







## 2. 定住・結婚・子育てに関する市民意識

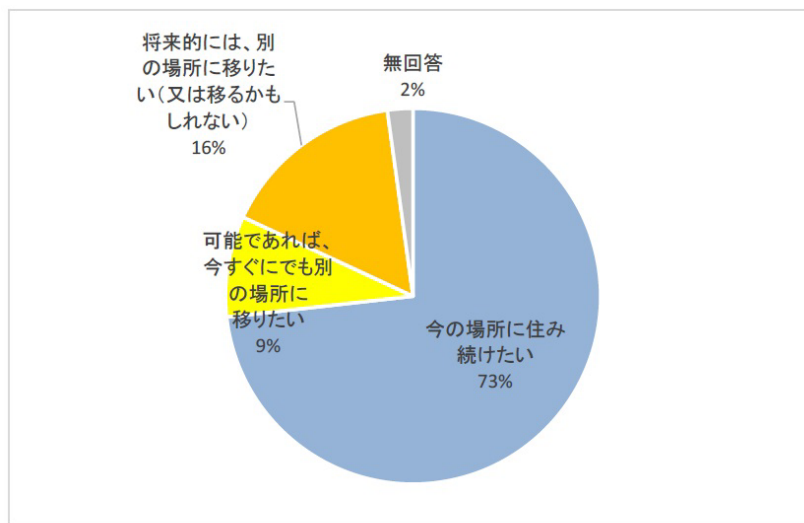
### (1) 市民満足度調査結果

実施時期：平成 26 年 7 月 14 日～平成 26 年 8 月 18 日

調査対象：市内在住の 20～79 歳の男女 3,000 人

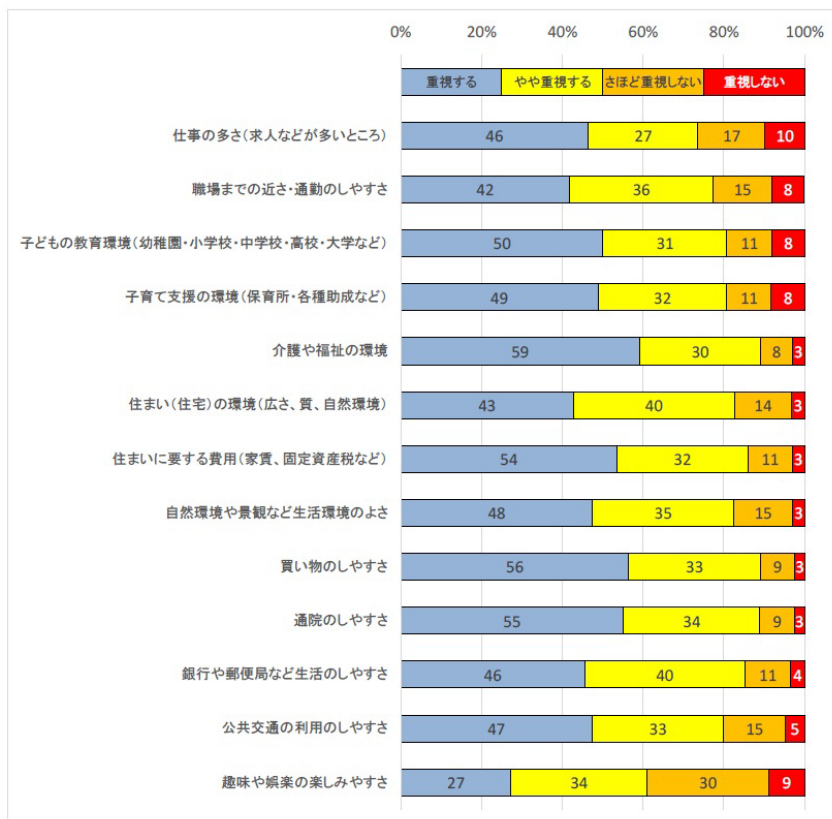
有効回答：924 票（回答率 30.8%）

#### ○今後の居留意向

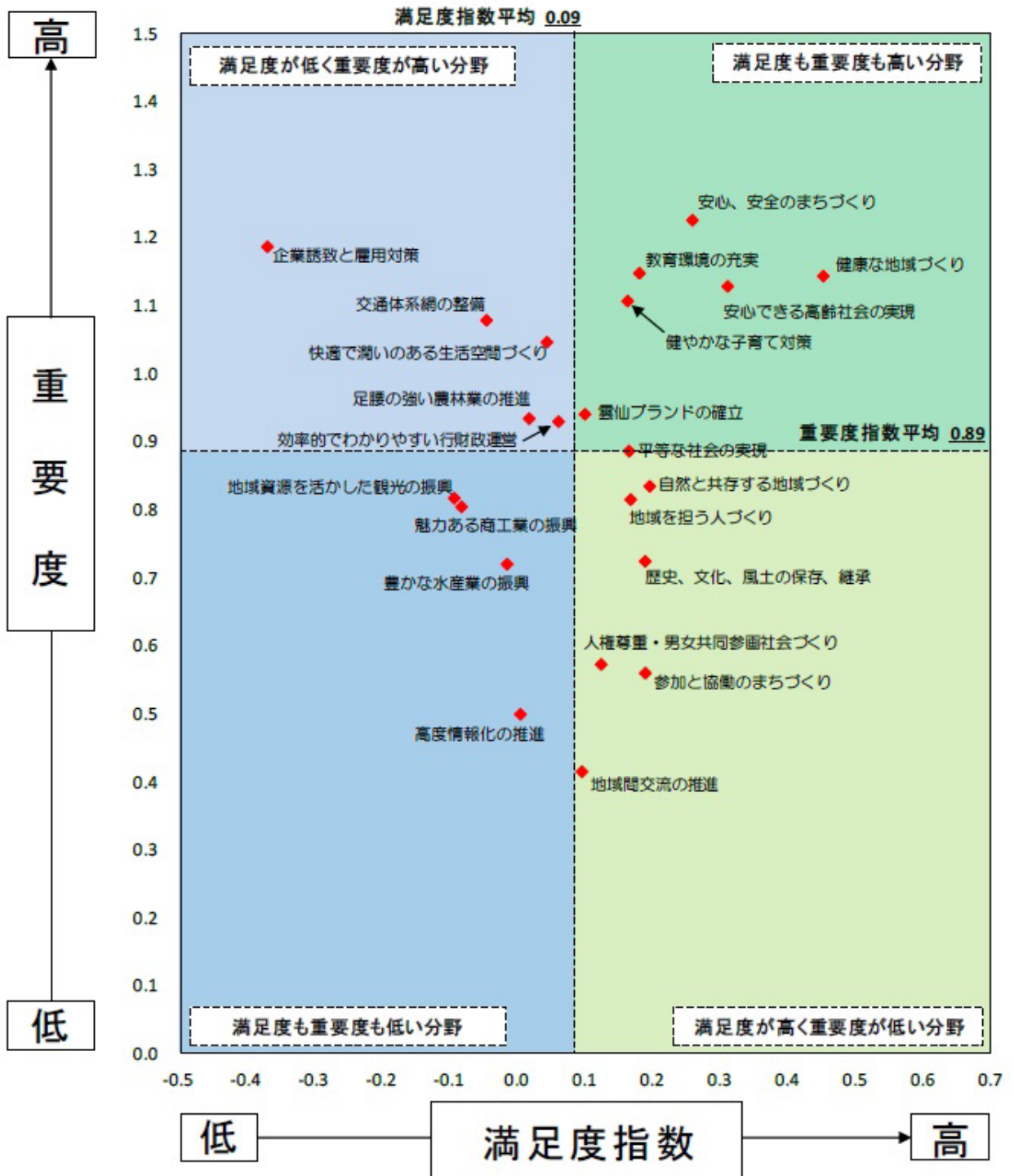


N=924

#### ○居住地決定の際に重視する条件



○満足度、重要度クロス

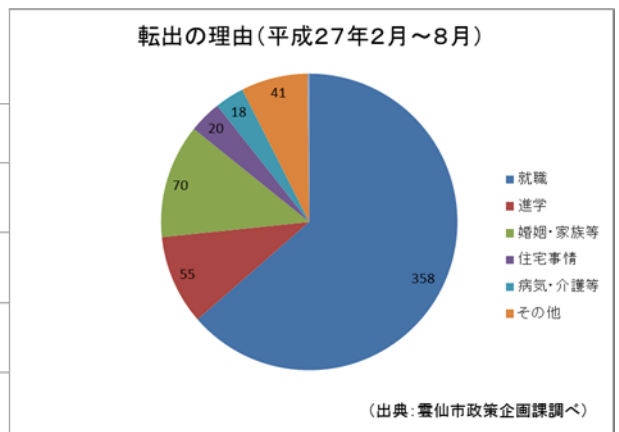
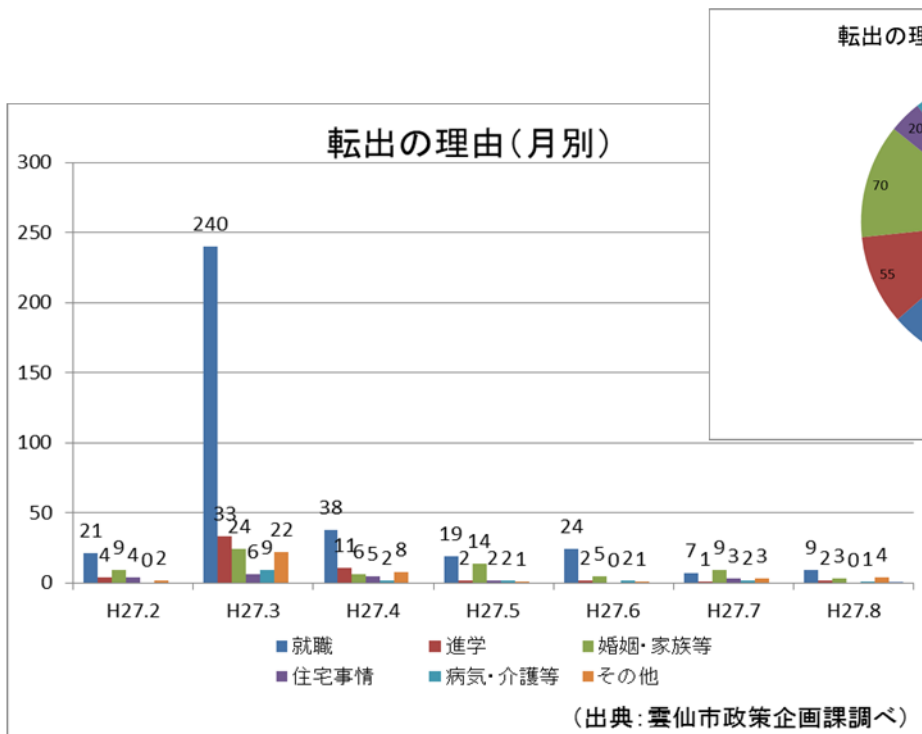
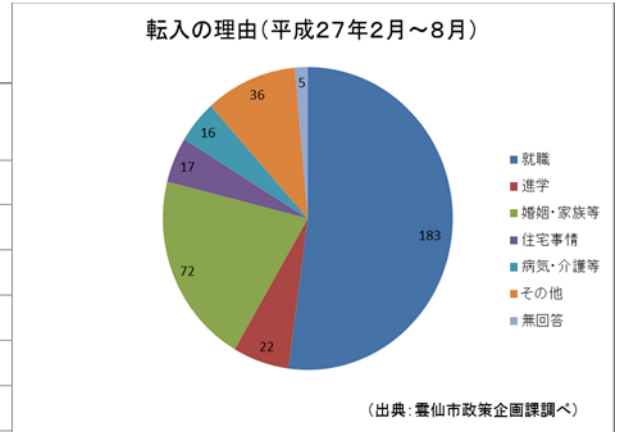
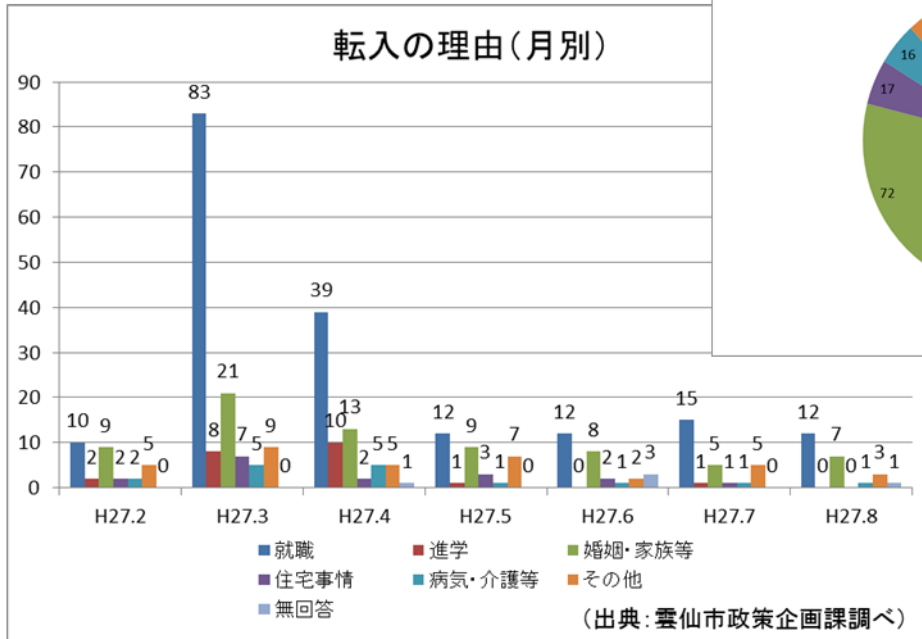


## (2) 転入出者アンケート調査結果

実施時期：平成 27 年 2 月～平成 27 年 8 月

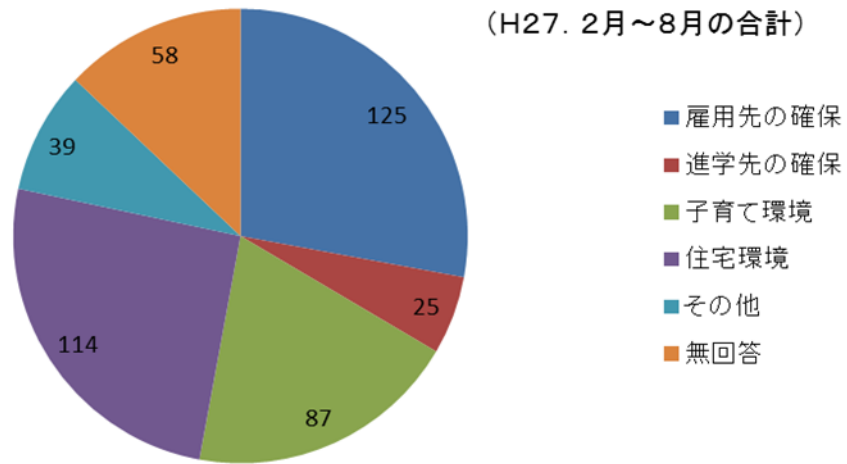
調査対象：市内へ転入する人、市外へ転出する人

調査方法：本庁、各総合支所の窓口にて実施



### 雲仙市に期待する施策(転入者)

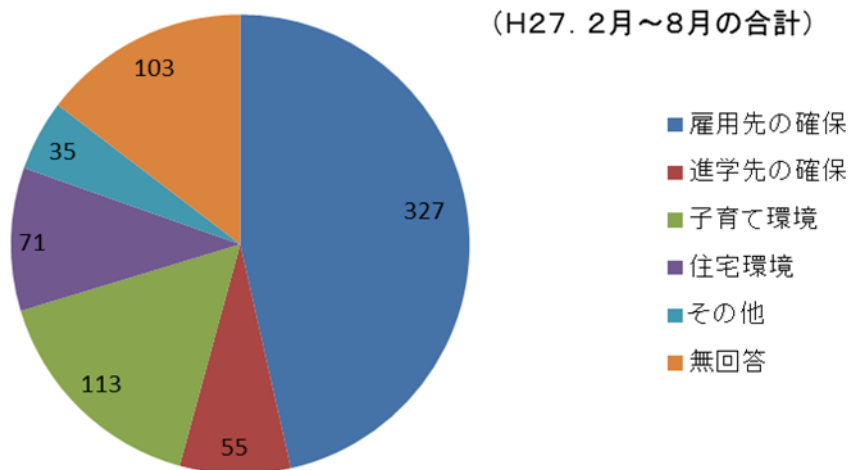
(H27. 2月～8月の合計)



(出典:雲仙市政策企画課調べ)

### 雲仙市が力を入れるべき施策(転出者)

(H27. 2月～8月の合計)



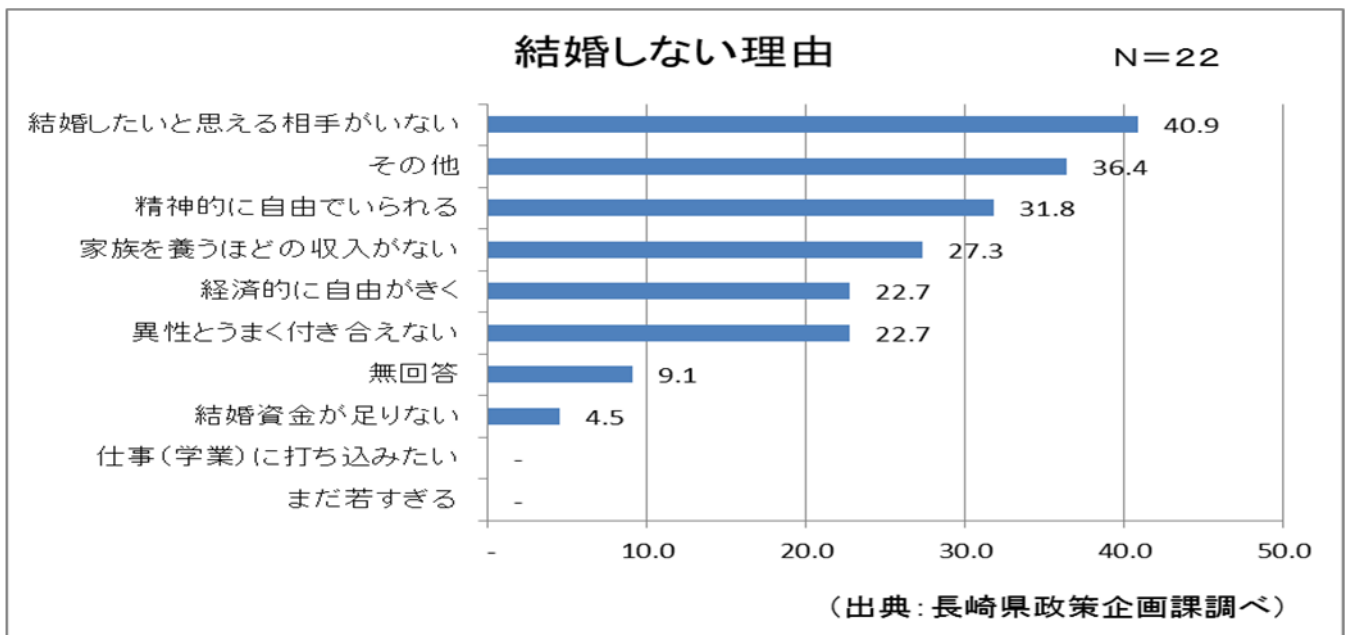
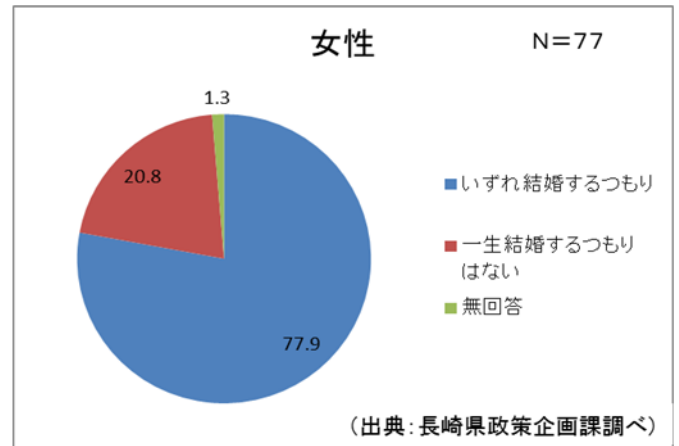
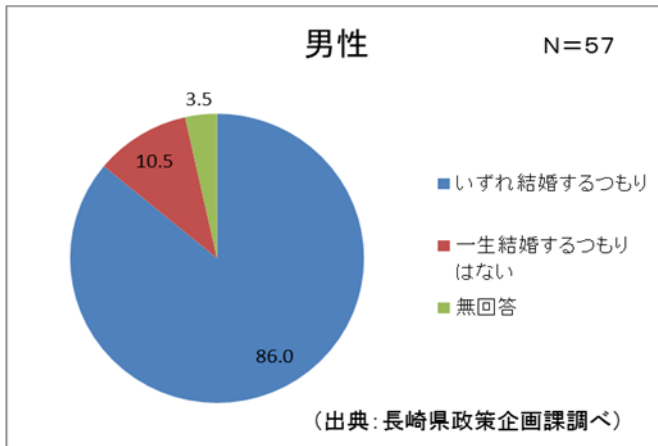
(出典:雲仙市政策企画課調べ)

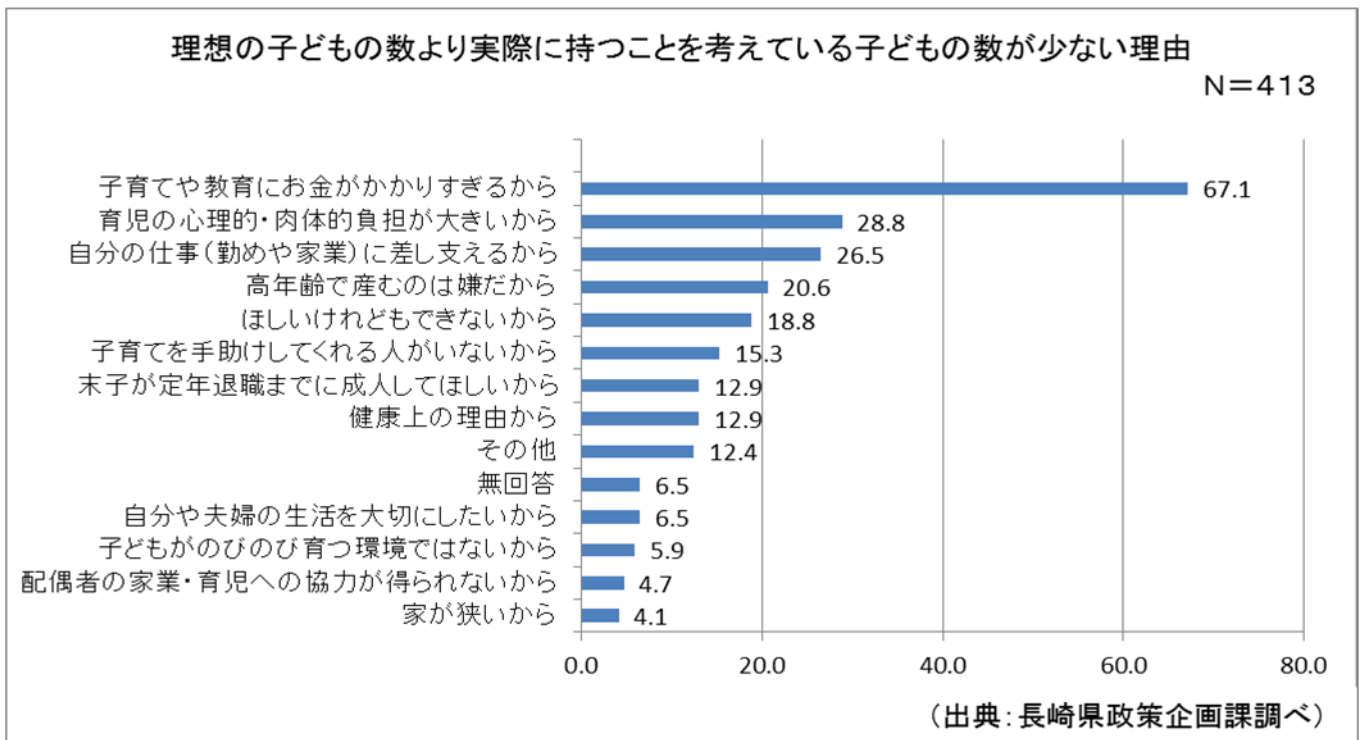
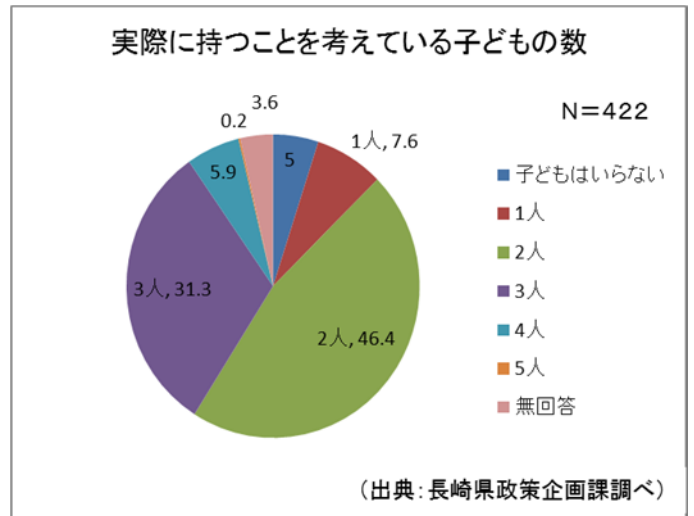
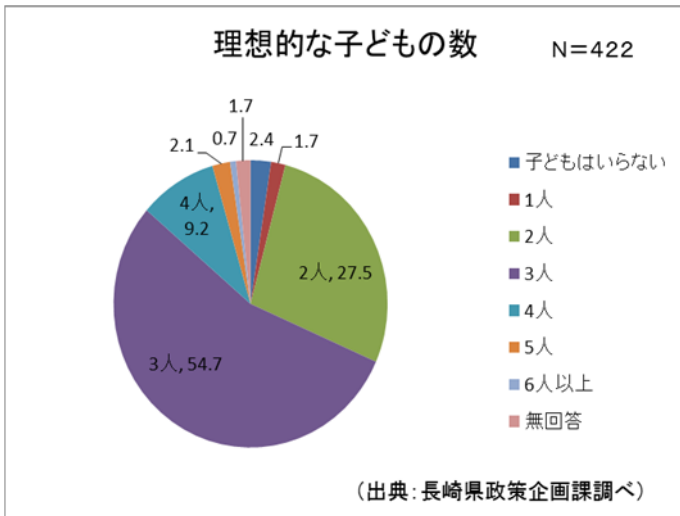
### (3) 結婚・妊娠・出産・子育ての意識調査

実施時期：平成 27 年 1 月上旬～平成 27 年 2 月中旬

調査対象：市内在住の 20～49 歳の男女 1,335 人

有効回答：420 票（回答率 31.6%）





| 市町名   | 合計特殊出生率 | 希望出生率<br>(①×②+③×④×⑤)×⑥ | 既婚者割合① | 夫婦の予定子ども数② | 未婚者割合③ | 未婚結婚希望割合④ | 理想子ども数⑤ | 離別等効果⑥ |
|-------|---------|------------------------|--------|------------|--------|-----------|---------|--------|
| 長崎市   | 1.32    | 2.00                   | 0.315  | 2.11       | 0.671  | 0.951     | 2.30    |        |
| 佐世保市  | 1.71    | 2.09                   | 0.401  | 2.34       | 0.593  | 0.963     | 2.26    |        |
| 島原市   | 1.78    | 2.14                   | 0.426  | 2.39       | 0.572  | 0.974     | 2.27    |        |
| 諫早市   | 1.60    | 2.11                   | 0.379  | 2.16       | 0.617  | 0.958     | 2.42    |        |
| 大村市   | 1.75    | 1.98                   | 0.429  | 2.43       | 0.562  | 0.822     | 2.31    |        |
| 平戸市   | 1.96    | 1.96                   | 0.441  | 2.57       | 0.558  | 0.778     | 2.20    |        |
| 松浦市   | 1.94    | 2.20                   | 0.470  | 2.62       | 0.530  | 0.897     | 2.34    |        |
| 対馬市   | 2.18    | 2.17                   | 0.548  | 2.37       | 0.450  | 0.833     | 2.72    |        |
| 杵岐市   | 2.14    | 2.18                   | 0.558  | 2.50       | 0.442  | 0.828     | 2.55    |        |
| 五島市   | 1.82    | 2.09                   | 0.476  | 2.41       | 0.520  | 0.862     | 2.41    |        |
| 西海市   | 1.89    | 2.14                   | 0.453  | 2.29       | 0.547  | 0.947     | 2.41    |        |
| 雲仙市   | 1.65    | 2.19                   | 0.389  | 2.51       | 0.607  | 0.932     | 2.41    | 0.938  |
| 南島原市  | 1.75    | 2.29                   | 0.404  | 2.46       | 0.595  | 0.929     | 2.61    |        |
| 長与町   | 1.65    | 2.14                   | 0.417  | 2.23       | 0.582  | 0.971     | 2.39    |        |
| 時津町   | 1.83    | 2.06                   | 0.427  | 2.21       | 0.567  | 0.927     | 2.39    |        |
| 東彼杵町  | 1.37    | 2.43                   | 0.314  | 2.70       | 0.686  | 0.957     | 2.65    |        |
| 川棚町   | 1.45    | 2.00                   | 0.387  | 2.39       | 0.613  | 0.892     | 2.20    |        |
| 波佐見町  | 1.62    | 2.34                   | 0.403  | 2.46       | 0.597  | 0.917     | 2.75    |        |
| 小値賀町  | 1.72    | 2.08                   | 0.455  | 2.33       | 0.545  | 0.926     | 2.30    |        |
| 佐々町   | 1.92    | 2.21                   | 0.489  | 2.42       | 0.509  | 0.933     | 2.47    |        |
| 新上五島町 | 1.76    | 2.02                   | 0.478  | 2.39       | 0.521  | 0.833     | 2.34    |        |
| 県平均   | 1.59    | 2.08                   |        |            |        |           |         |        |

希望出生率(県平均)＝市町別の希望出生率の加重平均

市町別の希望出生率＝〔既婚者割合①×夫婦の予定子ども数②

＋未婚者割合③×未婚結婚希望割合④×理想子ども数⑤〕×離別等効果⑥

※1 合計特殊出生率出典 ＝ 平成 20～24 年人口動態保健所・市区町村別統計、長崎県政策企画課調べ

※2 既婚者割合①、未婚者割合③出典 ＝ 平成 22 年国勢調査

※3 夫婦の予定子ども数② ＝ 20～49 歳既婚女性の「実際に持つことを考えている子ども数」

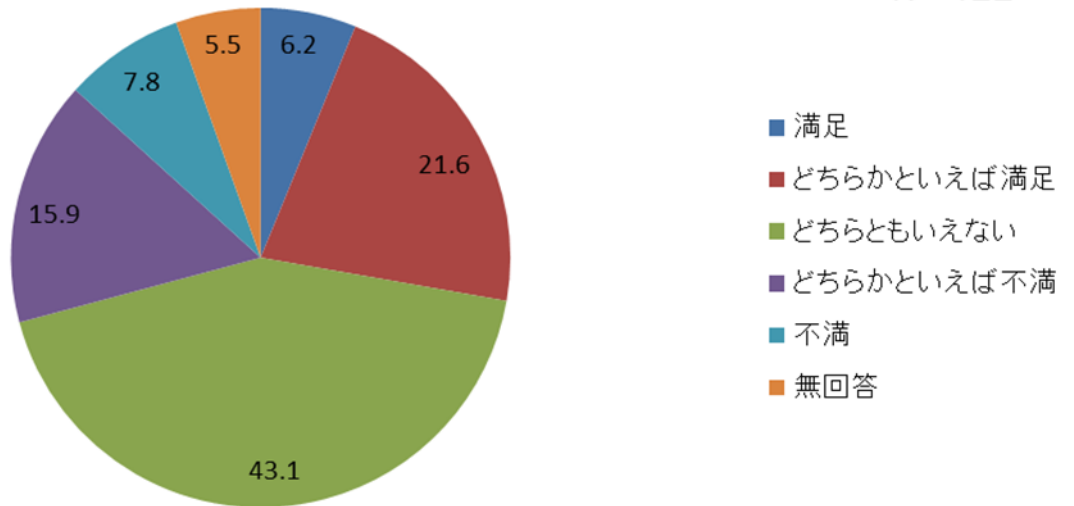
※4 理想子ども数⑤ ＝ 20～34 歳未婚女性の「理想の子ども数」

※5 離別等効果⑥出典 ＝ 社人研の日本の将来人口推計における仮定値

※6 杵岐市データ出典 ＝ 「杵岐市地域少子化対策強化アンケート調査」(調査対象年齢：高校生～29 歳)

### 雲仙市における子育ての環境や支援の満足度

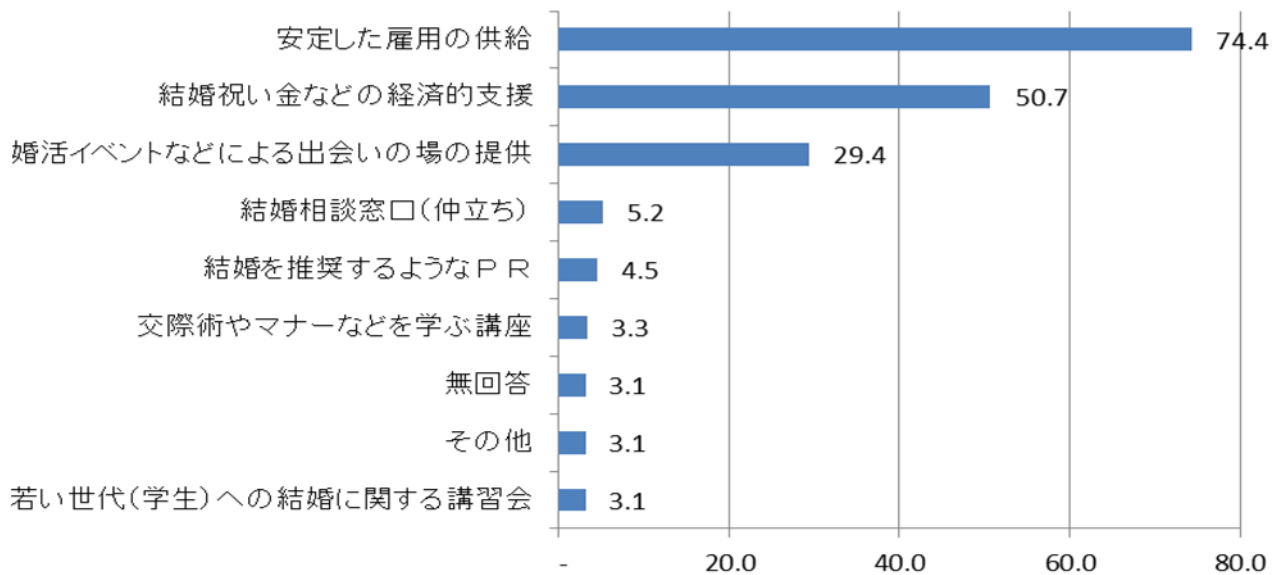
N=422



(出典:長崎県政策企画課調べ)

### 行政に取り組んで欲しい結婚支援事業

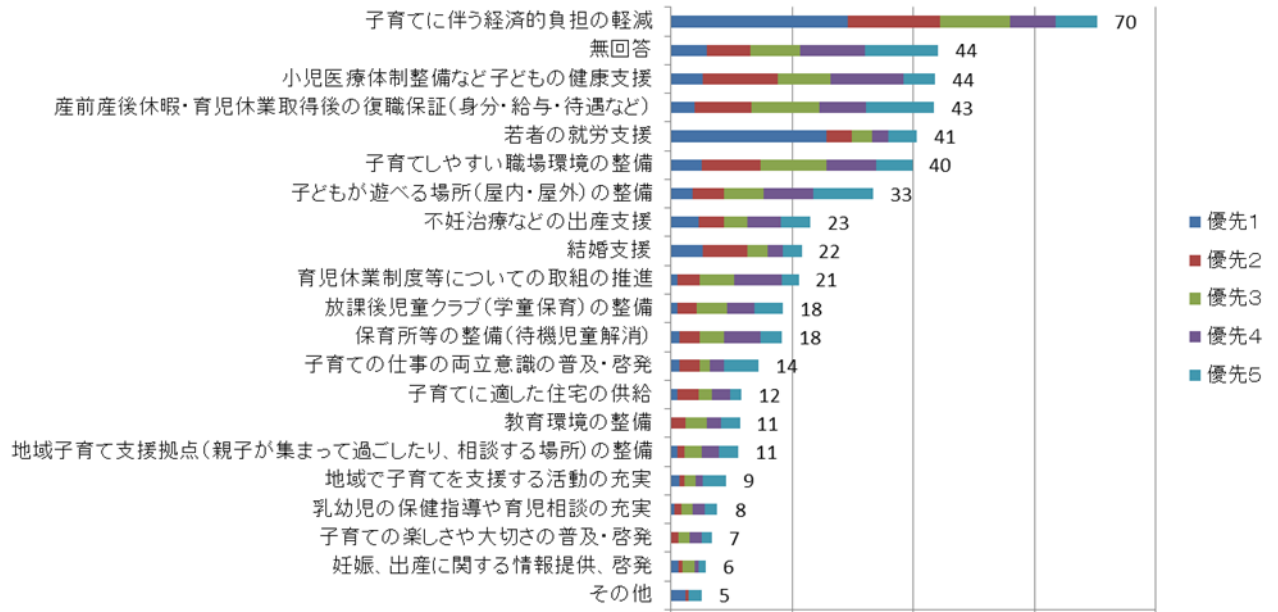
N=422



(出典:長崎県政策企画課調べ)



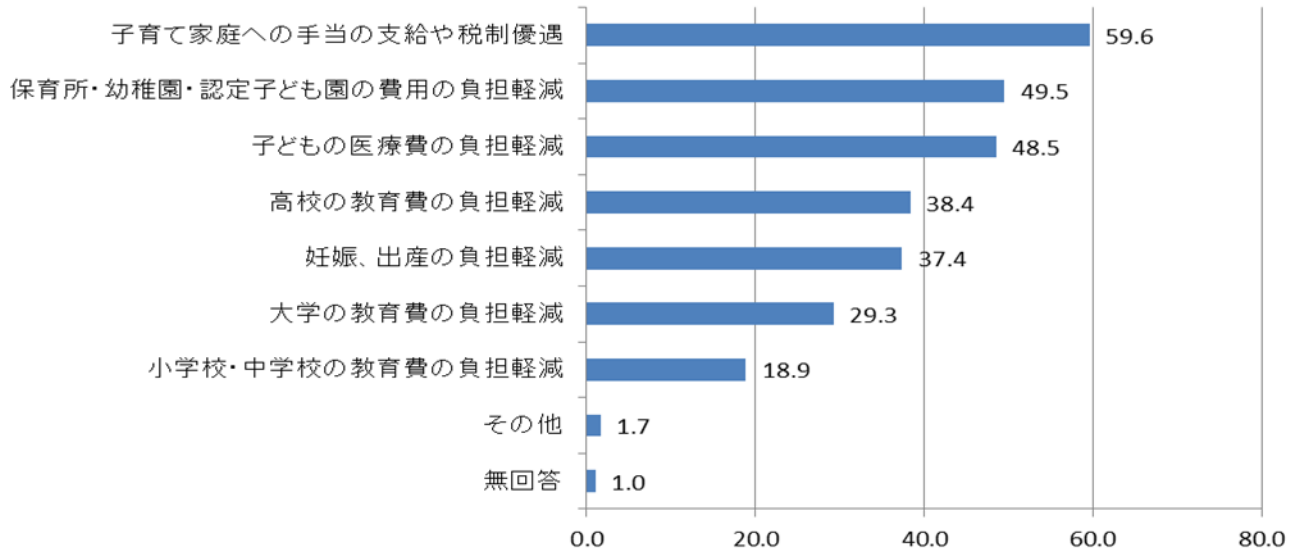
## 子どもの数を増やすために必要な支援、対策



(出典:長崎県政策企画課調べ)

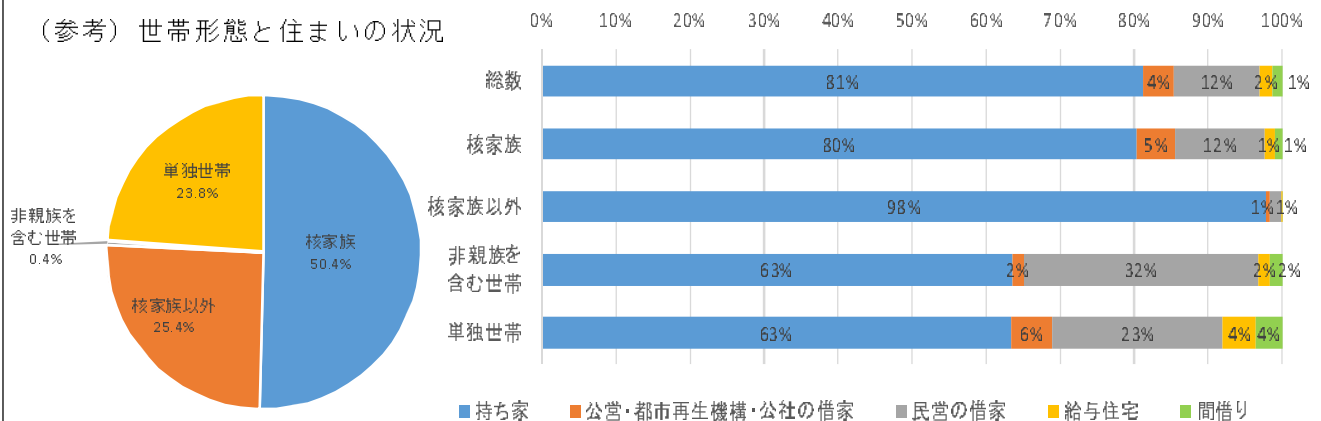
## 子育てに伴う経済的負担を軽減するための支援、対策

N=297



(出典:長崎県政策企画課調べ)

## (参考) 世帯形態と住まいの状況



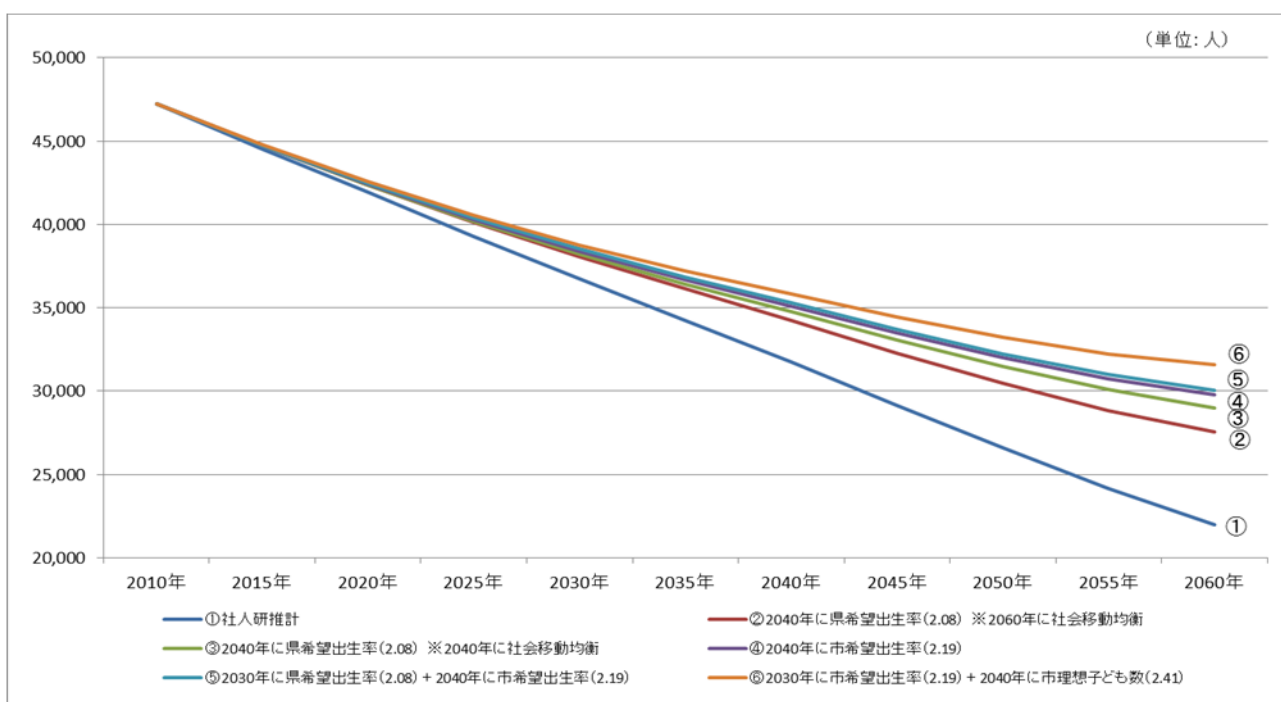
(出典:平成22年国勢調査)

### 3. 将来人口の推計と分析

本市の人口は、社人研の推計によると 2060 年に 21,970 人にまで減少することが推計されていますが、今後、出生率が上昇した場合、社会移動が均衡した場合の組み合わせにより、5つのパターンで推計を行いました。

推計の結果、2040 年に県の希望出生率である 2.08 を達成し、2060 年に社会移動が均衡した場合、2060 年には社人研の推計よりも約 6 千人多い約 2.7 万人の人口が確保できる結果となりました。

また、2030 年に県の希望出生率である 2.08、2040 年に市の希望出生率である 2.19 を達成し、2040 年に社会移動が均衡した場合、2060 年には約 3.0 万人と社人研の推計より 8 千人多い人口が確保できる推計結果となりました。



| 推計パターン                                    | 社会移動 均衡 | 2060年(人) |
|---|---------|----------|
| ①社人研推計                                    | 2040年   | 21,970   |
| ②2040年に県希望出生率(2.08)                       | 2060年   | 27,547   |
| ③2040年に県希望出生率(2.08)                       | 2040年   | 28,960   |
| ④2040年に市希望出生率(2.19)                       | 2040年   | 29,763   |
| ⑤2030年に県希望出生率(2.08) + 2040年に市希望出生率(2.19)  | 2040年   | 30,062   |
| ⑥2030年に市希望出生率(2.19) + 2040年に市理想子ども数(2.41) | 2040年   | 31,577   |

※将来人口推計の基準となる 2010 年の合計特殊出生率は、国立社会保障・人口問題研究所発表値の 1.65 を採用しており、長崎県算定値とは異なります。

## 4. 人口の将来展望

### (1) 目指すべき将来の方向性

今後、人口減少を克服し、地域の経済を活性化するためには、出生率の向上による出生数の増加（自然動態の改善）と、市外への転出数の抑制と市内への転入数の増加（社会動態の改善）が必要です。

以上のことから、今後本市が地方創生の実現に向けて取り組むべき方向性を次のとおり示します。

- 市内の基幹産業などの産業を発展させることで雇用の場を創出し、若い世代の市外への流出を抑制するとともに、U・Iターンを促進する。
- 雲仙市が持つ「自然」や「歴史」などの地域の特性を活かした社会をつくることにより、雲仙市への定住・移住を促進する。
- 結婚・妊娠・出産・子育てなどのライフイベントに応じた支援を充実させることで、子育て世代から選ばれる環境をつくる。
- 健康で安心して暮らすことができる社会をつくり、市民の健康長寿と安全を守る。

## (2) 人口の将来展望

「(1) 目指すべき将来の方向性」で示した取り組みにより、本市の人口を 2060 年に約 3 万人確保 (∞) することを目指します。

なお、その後も長期的に 2.7 万人から 3 万人の人口を維持することで、持続可能な社会を構築します。

※「3 万人確保」は合計特殊出生率の向上及び社会動態の均衡を図ることを基本に算定したものであり、今後、地方創生の取り組みにより移住人口の増加が見込めた場合は、適宜修正します。

### 【2060 年目標達成までの段階的目標】

#### ①短期目標(10 年後:2025 年)

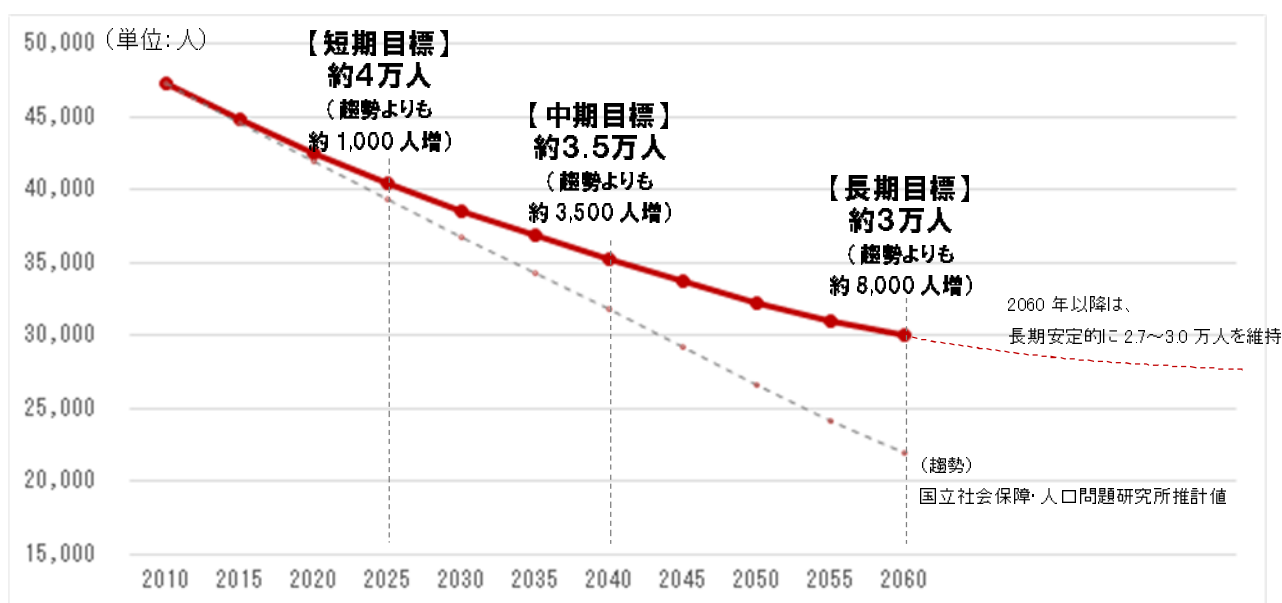
10 年後の平成 37 年(2025 年)は、「雲仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略(計画期間:平成 27 年~平成 31 年)」で示した施策の着実な実施により、出生率の向上と社会動態の縮小を図る初期段階として、社人研推計値に比べ 1,000 人程度の改善(増加)となる人口 40,000 人以上を確保することを目指します。

#### ②中期目標(25 年後:2040 年)

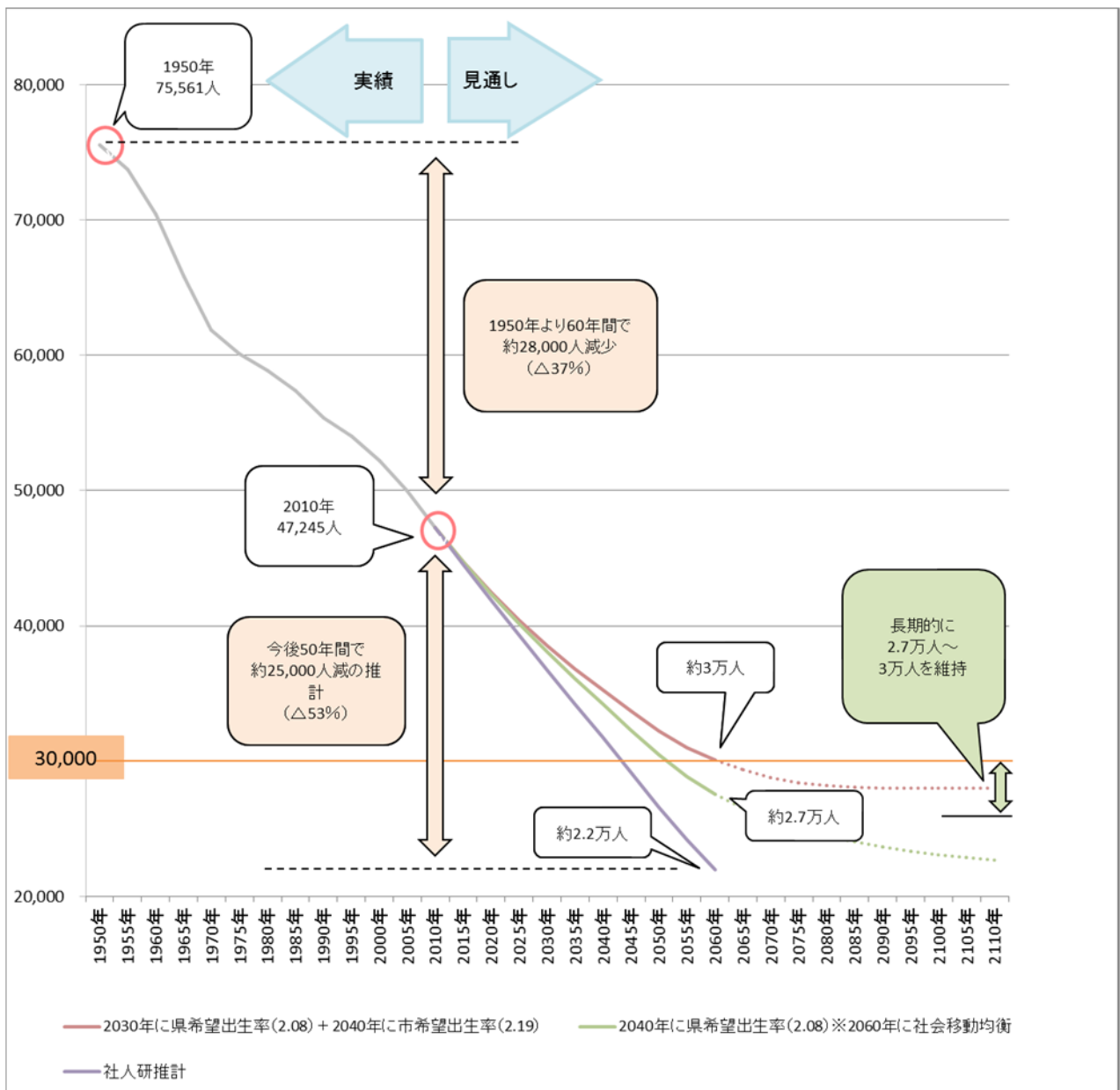
25 年後の平成 52 年(2040 年)は、短期での取組みを更に加速させながら、引き続き出生率の向上、社会動態の転入超過を維持する取組みを実施し、社人研推計値に比べ 3,500 人程度の改善(増加)となる人口 35,000 人以上を確保することを目指します。

#### ③長期目標(45 年後:2060 年)

45 年後の平成 72 年(2060 年)は、人口ビジョンの最終段階として、社人研推計値に比べ 8,000 人程度の改善(増加)となる、人口 30,000 人程度の確保及び人口構造の改善を目指します。

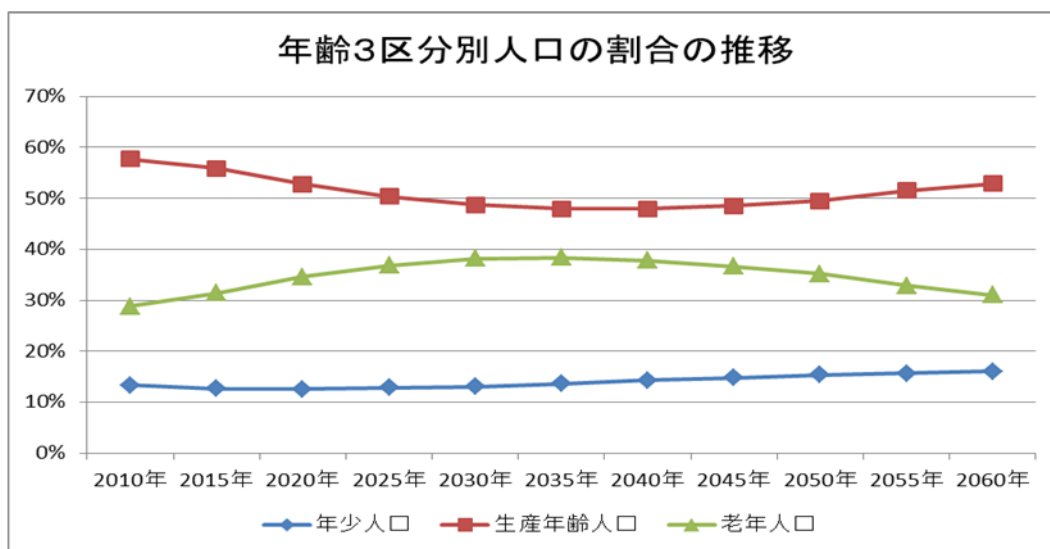
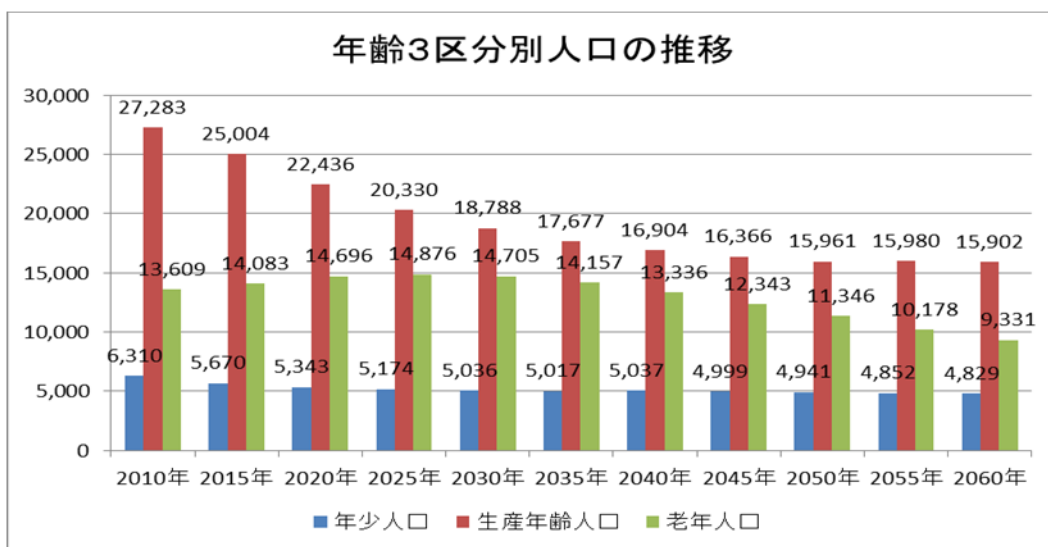


○雲仙市の人口推移と長期的な見通し



出典：実績は国勢調査、2015年以降は市独自推計、社人研推計

○将来人口の見通し（2030年に県希望出生率（2.08）＋2040年に市希望出生率（2.19）の場合）



| (推計)人口 | 2010年  | 2015年  | 2020年  | 2025年  | 2030年  | 2035年  | 2040年  | 2045年  | 2050年  | 2055年  | 2060年  |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年少人口   | 6,310  | 5,670  | 5,343  | 5,174  | 5,036  | 5,017  | 5,037  | 4,999  | 4,941  | 4,852  | 4,829  |
| 生産年齢人口 | 27,283 | 25,004 | 22,436 | 20,330 | 18,788 | 17,677 | 16,904 | 16,366 | 15,961 | 15,980 | 15,902 |
| 老年人口   | 13,609 | 14,083 | 14,696 | 14,876 | 14,705 | 14,157 | 13,336 | 12,343 | 11,346 | 10,178 | 9,331  |
| 総人口    | 47,245 | 44,758 | 42,475 | 40,380 | 38,529 | 36,851 | 35,277 | 33,708 | 32,248 | 31,011 | 30,062 |

| 構成比    | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 | 2055年 | 2060年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 年少人口   | 13%   | 13%   | 13%   | 13%   | 13%   | 14%   | 14%   | 15%   | 15%   | 16%   | 16%   |
| 生産年齢人口 | 58%   | 56%   | 53%   | 50%   | 49%   | 48%   | 48%   | 49%   | 49%   | 52%   | 53%   |
| 老年人口   | 29%   | 31%   | 35%   | 37%   | 38%   | 38%   | 38%   | 37%   | 35%   | 33%   | 31%   |

| 増減     | 2010年 | 2015年  | 2020年  | 2025年  | 2030年  | 2035年  | 2040年  | 2045年  | 2050年  | 2055年  | 2060年 |
|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 年少人口   |       | -640   | -327   | -169   | -138   | -20    | 20     | -39    | -58    | -88    | -24   |
| 生産年齢人口 |       | -2,279 | -2,568 | -2,106 | -1,542 | -1,110 | -773   | -538   | -405   | 19     | -78   |
| 老年人口   |       | 474    | 612    | 180    | -171   | -548   | -821   | -993   | -997   | -1,168 | -847  |
| 総人口    |       | -2,487 | -2,283 | -2,094 | -1,851 | -1,678 | -1,574 | -1,569 | -1,461 | -1,237 | -949  |

雲仙市人口ビジョン

平成27年12月  
長崎県雲仙市